

令和4年度 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会主催
夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー

新入社員安全衛生教育・研修開催
産業廃棄物処理に係る「第33回 実務者研修会」開催
不当要求防止責任者講習会開催



白鳥庭園のサルスベリ（名古屋市熱田区）



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

一般社団法人

愛知県産業資源循環協会

<https://www.aisankyou.com> E-mail:info@aisankyou.com



4つの焼却システムで多種類の廃棄物を完全燃焼 環境管理も最新設備で万全

●ロータリーキルン炉による焼却

●バーナー噴霧による焼却

●台車炉による焼却

●揺動式ストーカー炉による焼却

近藤産興の産業廃棄物焼却プラント飛島工場



近藤産興株式会社

〒457-8535 名古屋市南区浜田町1-10
TEL.052-614-2511 FAX.052-611-5826

飛島工場

〒490-1435 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷字東梅15
TEL.0567-55-2847 FAX.0567-55-0506



MEIKI
CLEANER

わたしたちにできること。

お客様のために。その先にいるお客様のために。「私たちの成長が、未来をもっと良いものにする。」
その想いを胸に、リサイクルへの架け橋として 日々成長し続けています。



環境の未来をいちばんに考え、
あらゆる分野の廃棄物の処理システムをご用意しています。



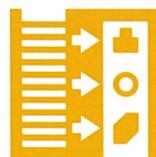
焼却



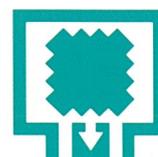
油水分離
脱水・中和



圧縮梱包



選別



減容固化



破碎

一般・産業廃棄物処理許可業者

株式会社 **明輝クリーナー**

URL <http://www.meiki-c.com/>
MAIL meiki@lilac.ocn.ne.jp



本社

〒441-8123 愛知県豊橋市若松町字中山101-34
TEL.0532-25-1026(代) FAX.0532-25-1227

原町工場

〒441-3111 愛知県豊橋市原町字南山1-99
TEL.0532-41-7530 FAX.0532-43-0165
ヨイナゴミゼロ

循環型社会
推進企業をめざす

ASS
AMA SEISOU

廃棄物を明日に残さない
環境保全の約束です。

明日をベストゼロエミッション。



《14年対応最新設備の燃焼施設完成》

収集運搬



選別

再資源化



焼却



株式会社
海部清掃

■本社／愛知県あま市西今宿平割二6番地
TEL.052-441-5353 FAX.052-441-5427
<http://amaseisou.co.jp>

■リサイクルセンター／愛知県あま市ニツ寺上長2番1号
TEL.052-442-8493 FAX.052-442-8508

業務内容	産業廃棄物許可		特別管理産業廃棄物許可		一般廃棄物許可	
	収集運搬	愛知県・岐阜県・三重県・長野県	収集運搬	愛知県・岐阜県・三重県・長野県	収集運搬	あま市・愛西市・一宮市・稲沢市・大治町・春日井市・蟹江町・北名古屋市・清須市・津島市・弥富市
処分	愛知県 ・中間処分／圧縮・圧縮・選別・焼却・選別・破碎・破碎・選別	処分	愛知県 ・中間処分／焼却	処分	あま市 ・中間処分／焼却・破碎・選別	

ITで環境問題に挑む 株式会社JEMSが 賛助会員として 入会させて頂きました。

お客様の業務・ご要望・課題に合わせて
ITを活用し、業務改善を支援致します。
お気軽にお声がけください。



たとえば、こんなこと

システム構築



マニフェスト
管理



電子契約



回収依頼の
Web化



スマホの活用



ITで環境問題に挑む

Japan
Environment
Management
System



0120-857-493

受付時間

平日 9:00~18:00

[名古屋営業所] 愛知県名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビル5F

株式会社JEMS (読み方: ジェムス)

<https://www.e-mall.co.jp/>

環境将軍R 検索

協会ホームページ・バナー広告掲載企業の募集

ホームページに掲載するバナー掲載料等の取扱いについて

1. 枠数 トップページ 10枠程度
2. バナー掲載料（消費税を含む。）

バナー掲載料	1年間の料金（ ）は会員外の掲載料	
	20,000円（50,000円）	
初期費用	設置費用	5,500円
	画像制作費用	5,500円（企業ロゴ作成は別途料金） ※使用可能な画像提供は無料

※行政広報、関係団体の広報については、無料とする。
 ※掲載期間は1年間（ただし、行政広報、関係団体の広報については希望の期間）とし、申請により継続掲載を妨げない。

3. バナー広告の規格

位置	ページ内の協会が定めた位置	
規格	大きさ	縦83ピクセル 横210ピクセル
	データ形式	jpeg、gif、png
	データ容量	30KB以下
	画像	静止画像

令和4年1月18日より適用

お問合せ・お申し込みは事務局へ TEL：052-332-0346



一般社団法人
愛知県産業資源循環協会

〒460-0022
名古屋市中区金山2-10-9 第8フクマルビル5階
TEL 052-332-0346 FAX 052-322-0136

この辺りを予定➡

A 社
B 社
C 社
D 社

バナー数が増えた場合、社名は自動で横にスクロールされていきます。

- 会員専用ページ
- 協会ニュース
- 法令等最新情報
- 会員検索
- 講習会日程

What's New

- ◆新型コロナウイルス関連の情報は、[こちらをご覧ください。](#)
- ◆バナー広告規格、掲載料の取扱いについて
・[ホームページに掲載するバナー掲載料等の取扱いについて](#)
- ◆改正事務所衛生基準規則等に係るパンフレットについて
愛知労働局労働基準部健康課長から標記の件について周知依頼がありましたのでお知らせします。
詳しくは下記をご覧ください。

令和4年度 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会主催

「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」…………… 2

7月29日：加山興業(株)、(株)鈴鍵 下山バーグパーク
体験ツアー参加者の皆さんから送られた作品・感想文のご紹介

協会ニュース

新入社員安全衛生教育・研修開催…………… 12

産業廃棄物処理に係る「第33回 実務者研修会」開催…………… 13

不当要求防止責任者講習会開催…………… 14

サーキュラーエコノミー型ビジネス創出研究会 ビジネスセミナー報告…………… 15

藤前干潟ラムサール条約登録20周年 環境デーなごや2022 ～つなげよう！命の輝きいきものつながり～…………… 16

SDGs推進フェア SDGs AICHI EXPO 2022…………… 17

令和4年度 中部地域協議会 第1回全体会議開催…………… 18

安全衛生情報

産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例 / 株式会社新栄重機…………… 20

企業訪問 資源循環レポート

廃プラスチックでつくる世界にひとつのアクセサリー / 有限会社愛知環境センター…………… 22

支部・青年部・女性部ニュース

名古屋支部・尾張西支部・尾張南支部・西三河支部・東三河支部・女性部…………… 24

趣味倶楽部

レクリエーションバレーと共に歩む / 永井産業株式会社 永井 愛氏…………… 40

新会員紹介

<正会員>(株)大同建設工業、(株)藤木工業、(株)エコソリューション…………… 42

<賛助会員>(株)メニコン総合研究所

■ 連載 法律診断

～プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック新法)～…………… 44

社会保険労務士 特定行政書士 牟田美智代事務所

事務局だより

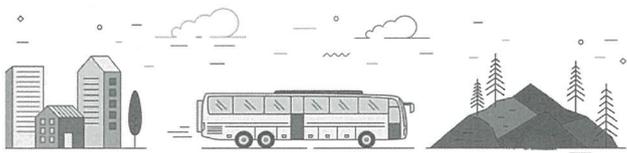
理事会報告・会員情報の変更…………… 46

本誌における内容、文章、画像の無断転載、無断使用を禁じます。



夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー

(一社)愛知県産業資源循環協会では、コロナ禍で2年間お休みをしていた「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」を再開しました。また、これまで、「尾張コース」と「三河コース」の2回の開催をしておりましたが、今年度より両コースをまとめた1回の開催となりました。体験ツアーは廃棄物リサイクル施設等の見学や循環型社会形成の各種取組の紹介等環境問題をより身近なものとして考える機会としていただくと共に、夏休みの親子の楽しい思い出作りのお手伝いをさせていただきました。



7月29日(金)午前9時に東岡崎駅南口(岡崎市明大寺町)をバスは出発し、最初の見学先である「加山興業(株)」に向かいました。

車中では、事務局長 小坂元信氏より、体験ツアーが2年お休みであったこと、今年度はコロナ対策をしっかりと図っての開催であることについて話がありました。次に体験ツアーの資料が配布され、タイムスケジュール等をアナウンスしました。

開会の挨拶で専務理事 堀部隆司氏は「本日は体験ツアーにご参加いただきありがとうございます。3年ぶりに体験ツアーを開催することができましたので、皆さんにとって夏休みの思い出に残るような



愛産協 小坂事務局長 愛産協 堀部専務理事 豊橋技科大 大門先生

環境教育指導

大門 裕之 先生

国立大学法人豊橋技術科学大学グローバル工学教育推進機構国際交流部門(大学院工学研究科 応用化学・生命工学系 兼務)副機構長・教授(博士(工学))

楽しい学びの場として、環境や資源リサイクルについて知っていただければと思います。」と述べました。

その後、環境教育指導としてお馴染みの国立大学法人豊橋技術科学大学の大門裕之先生は挨拶の中で、大阪生まれのコテコテの阪神ファンであり、大学では環境問題をテーマにバイオマスエネルギーについて研究をされており、さらにその研究のシステムを農家へプラントとして導入、実用化を推進されていることなど、研究内容を現場での運用にまで導いている日本で唯一無二の研究者である、と自信を持って話され、参加された親子の皆さんの緊張をほぐすなど、笑いを交えて楽しく自己紹介をされました。

◆学習 I

加山興業(株) 豊川市南千両 2-67

・乾留ガス化焼却プラント・ミツバチプロジェクトの見学

午前10時に加山興業(株)に到着し、千両リサイクルプラントの案内図前で、加山興業(株)の柏原宏人氏からプラント全体の説明を受け、サーマルプラントへ向かい、乾留ガス化焼却プラント(ロータリーキルン炉、固定床炉、乾留ガス化炉が稼働し、乾留ガス化炉から出される廃熱を利用して蒸気を作り発電に利用)等の見学をしました。



柏原氏から千両リサイクルプラントの案内図の説明を聞く



乾留ガス化炉を見学



製紙用、燃料用チップを見学



RPF固形燃料について説明を聞く



プラント内の養蜂場にて、ミツバチプロジェクトについて聞く



「Kayama Farm」にて参加者、関係者の記念写真

その後、千両プラント内にある養蜂場にて「ミツバチプロジェクト」について説明を受け、養蜂場内の施設を見学し、社員の方からミツバチの紙芝居を見せていただきました。

産業廃棄物処理プラント内に養蜂場があることに、まず皆さんは驚かれ、さらに環境指標生物のミツバチの生体検査等から、プラント周辺の安全な環境づくりが成されていることを知っていただけました。

現地に行かなければ分からない貴重な体験として、これらの取組に感動の声があがりました。

◆学習Ⅱ

(株) 鈴鍵 下山バーグパーク

豊田市和合町田螺池 245-1

- ・バーベキュー体験（昼食）
- ・ウッドチップリサイクルシステム見学、ビオトープの自然やブルーベリー摘み取りの体験

午後は(株)鈴鍵の下山バーグパークにてバーベキューが行われ、自然の中でお腹いっぱい食べて楽しみました。

また、ブルーベリー農園では、数多い品種をそれぞれ食べ比べ、大門先生からは農法について等のお話

しを聞かせていただくことができ、開放された環境での会食と自然に癒された時間を過ごすことができました。

その後、(株)鈴鍵の丹羽庸介氏の案内で社内のウッドチップリサイクルシステム(伐採工事や剪定工事で発生するこれまで利用されていなかった幹以外の枝葉や根株や竹などの樹木植物を森林資源として100%利活用するシステム)を見学しました。

破碎中のウッドチップを前に説明を受け、生成直後のウッドチップからは蒸気が出ているところを見学し、その一部を触らせていただきました。

製品化されたウッドチップは、堆肥や燃料として資源循環されエネルギーとなります。

里山の散策は、木々の緑と澄んだ空気中を、自然の風に吹かれながら雑木林を通り茶畑を抜け、自然のままのビオトープを楽しむことができました。参加者の方々にもこのような環境を守るため、日常においてすべき必要なことに気づいていただけました。

帰路のバスの中では、今日一日の見学したこと、体験したことについて、大門先生からお話があり、夕刻には東岡崎駅南口に到着してリサイクル体験ツアーは終了となりました。



バーベキューを楽しむ参加者



色々な種類のブルーベリーを摘んで甘さの違いを楽しむ



丹羽氏から施設の説明を聞く



里山を散策する



「下山バーグパーク」にて参加者、関係者の記念写真

体験ツアー参加者の皆さんから送られた 作品・感想文のご紹介



高橋 都綺 さん (小4)

お母さんからのメッセージ (一部掲載)

「先日、夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーに参加させていただいた高橋です。コロナ禍にもかかわらず、楽しいイベントを開催していただき、感謝しております。「資源の再利用」を念頭に、お菓子のパッケージの筒を使った「貯金箱」を娘が作製しました。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、作品の写真プリントを送っていただきました。

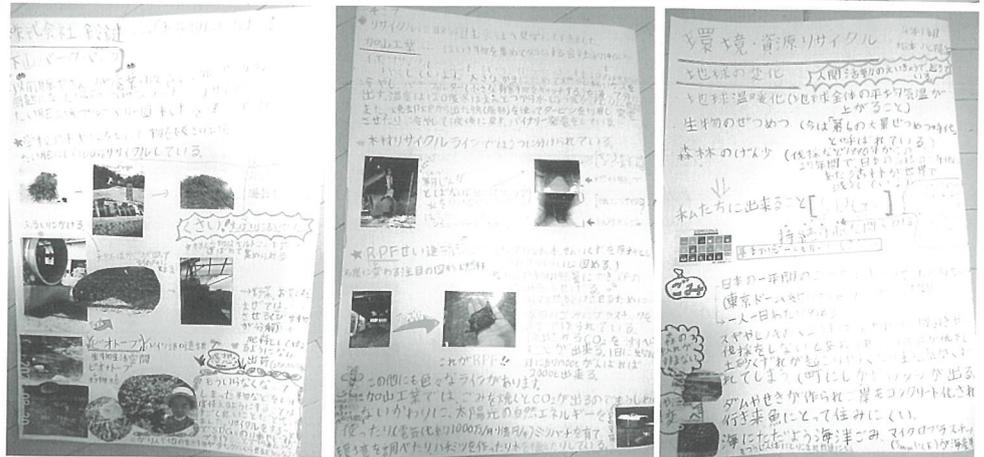
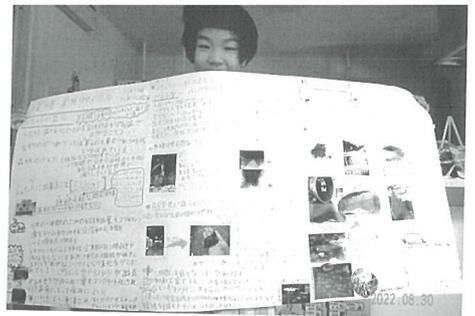
杉本 心陽海 さん (小4)

お母さんからのメッセージ (一部掲載)

「先日は、夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーに参加させていただきありがとうございました。子どもは丁度学校でリサイクルについて学んでいるところで、紙の上だけでなく、実際に足を運んで見学する事でリサイクルとはどういうものなのかをしっかりと学べたと思います。また機会があれば参加したいと思います。

貴重な経験となりました。ありがとうございます。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、作品の写真プリントを送っていただきました。



安藤 にこ さん (小6)

お母さんからのメッセージ (一部掲載)

「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーに参加させていただきありがとうございました。作品を送りますのでよろしくをお願いします。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、作品を送っていただきました。

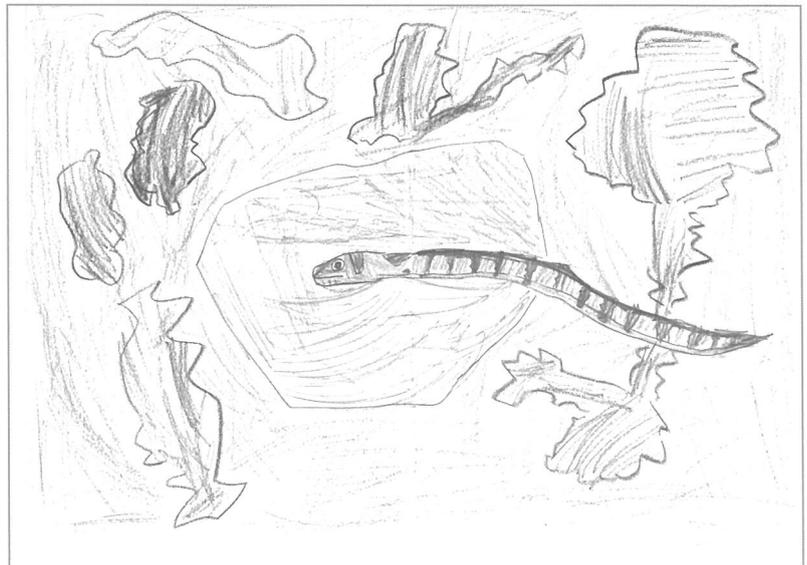


安藤 海翔 さん (小3)

お母さんからのメッセージ (一部掲載)

「先日はツアーに参加させていただき大変楽しく環境や資源について学ぶことができました。本当にありがとうございました。息子がビオトープでヤマカガシを見つけたことがとてもうれしかったようで、その時の絵を描きましたので送らせていただきます。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、作品を送っていただきました。



近藤 大翔 さん (小5)

お母さんからのメッセージ (一部掲載)

「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーでは、大変お世話になりました。ありがとうございました。体験ツアーに関する感想文を送ります。よろしくお願ひします。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、感想文を送っていただきました。



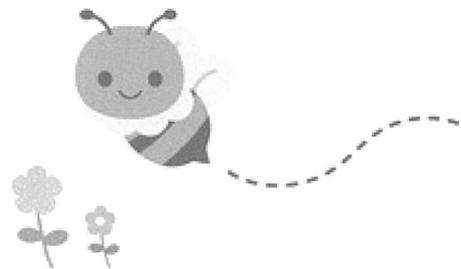
7月 29日 (金) 近藤大翔

ぼくが、リサイクル工場見学をして心に残ったのは、
どっさりあるゴミがRPF固形ねんりょに変身して、また使える
ようになるということです。そして、かんきょうにやさしいこと
をより明るくするために、いいかんきょうでしか生きていけ
ないミツバチを30万匹も飼育して、ハチミツもとって
ました。そこでは、そのハチミツを使ったレモネードをくれました。
とても美味しか、たです。つき"に向かったパークパーク
では、ブルーベリーガ"とバーベキューをして、パークパークに
あるビオトープ公園のビオトープを窺見察しながら木く
ずで作っている堆肥を見ました。とてもあたたかくて気持ち
良かったので、ありがとうございます。

菅沼 悠人 さん (小6)

ぼくは、お父さんにリサイクル施設に行こうとさそわれた。リサイクル施設ってどんな所だろう?と思った。よく分からないけどバーベキューとブルーベリーがあると聞いて参加することにした。ツアーに参加して、RPFというごみで出たプラスチックと木くずをかためたものを一日で80tも多量に作っていることや木くずを土にかえていることなど、おどろくことがたくさんあった。加山興業では、緑あふれるクリーンな日常を世界にという理念を実現するために色々なことにとり組んでいた。

このツアーに参加して、地球温暖化防止のためにも、ゴミをあまり出さないように気をつけたり、電気をちゃんと消したり身近なことから気をつけていきたいと思いました。



宇戸平 瑞規 さん (小6)

ぼくは、夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーに参加しました。リサイクルという言葉を知ったことはありましたが、実際にリサイクルをしているところを見るのは初めてでした。

最初は加山興業に行きました。ここでは大まかに種類別されたゴミを粉碎します。そして専用のラインで別の物にリサイクルして再利用をします。ここでぼくが一番おどろいたのはミツバチを飼っていたことです。ミツバチはきれいな環境でしか生息することが出来ないため、ミツバチがいるということはこの場所は良いという証拠になるからです。ミツバチを飼育することで環境保全や地域貢献になるそうです。採取された蜂蜜からも有害物質が含まれていないかをチェックしているそうです。ぼくたちはそこで採取された蜂蜜で作ったレモネードを飲みました。とてもおいしかったです。

次に下山パークに行きました。そこでバーベキューとブルーベリー狩りをしました。その後ウッドチップリサイクル施設を見学しました。災害などで発生した木くずを様々な大きさにしてウッドチップ歩道や堆肥などにリサイクルしていました。捨てる予定の木くずを使ったことでゴミの削減にもつながっていました。お昼に食べたブルーベリーもこの堆肥を使い育てたものだそうです。

その後ビオトープ公園に行きました。「ビオトープ」という言葉は聞いたことがなく、意味としては野生の生き物たちが生きていくために必要な自然空間の事だそうです。ぼくの家のまわりにはこのような場所はありません。今日、ここでぼくは色々な種類の虫や鳥を見つけました。この日はとても暑い日でしたが、この山の周りだけは涼しく感じました。リサイクルは環境を守っていく事にもつながっていると改めて感じました。

学校でもSDGsを学んでいますが、ぼくは今回の体験ツアーに参加して知識だけでなく実際に見ることで肌で感じる事が出来ました。自然を守っていくことは僕たちにとってとても大切な事なのだと感じました。そして地球のためにできる事は、まだまだたくさんあるので、ぼくたちがこれから地球を守り、ゴミを減らしていく事をしていきたいと思いました。



中川 蓮 さん (小4)

「おいしい!!」

レモネードを飲んで、びっくりした。レモン味だけど少し甘くて、おいしくてごくごく飲んだ。暑かったから、レモネードを飲んで元気になった。

ぼくは、7月29日にお母さんと「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」に参加した。僕も住んでる豊川市にある加山興業株式会社では、ミツバチプロジェクトでミツバチを飼育しているそうだ。みんなのまわりを忙しそうにミツバチが飛んでいて、こんなにたくさんのミツバチを見るのは初めてだし、ブンブン大きな音もあるし、最初は少し心ばいだった。でも、このおいしいレモネードに入っているハチミツを作っているんだなとありがたいと思えた。ぼくはなんで会社でミツバチを育ててるのかなと不思議だった。会社の人がクイズをしながらいろいろ教えてくれた。

ミツバチは、果物や野菜などの農作物の受粉のお手伝いをしている。ミツバチのおかげで、ぼくの大好きな野菜の収穫ができるんだと分かった。でも、世界中でミツバチが大量にいなくなってしまう事が起きている。なんでだろうと思った。ミツバチはきれいな環境でしか生きていけない。だからミツバチが元気に飛び回っている事が、取かくしたハチミツに有害なものが含まれていないか検査してまわりの環境を守ることに繋がっているそうだ。

話を聞いて、ミツバチが元気でハチミツを作れる環境じゃないと、人間も元気じゃなくなると思った。ミツバチ一匹が一生で集めるハチミツの量はスプーン一ぱい。ミツバチが頑張って仕事ができるように、世界中がもっとミツバチの住みやすい環境にして、もういなくならないようにしなければと思う。

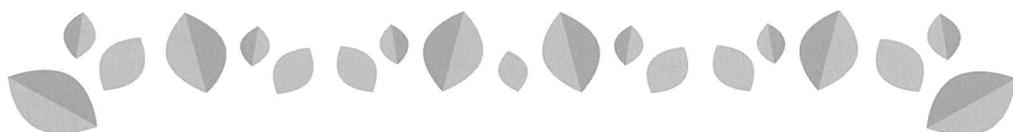
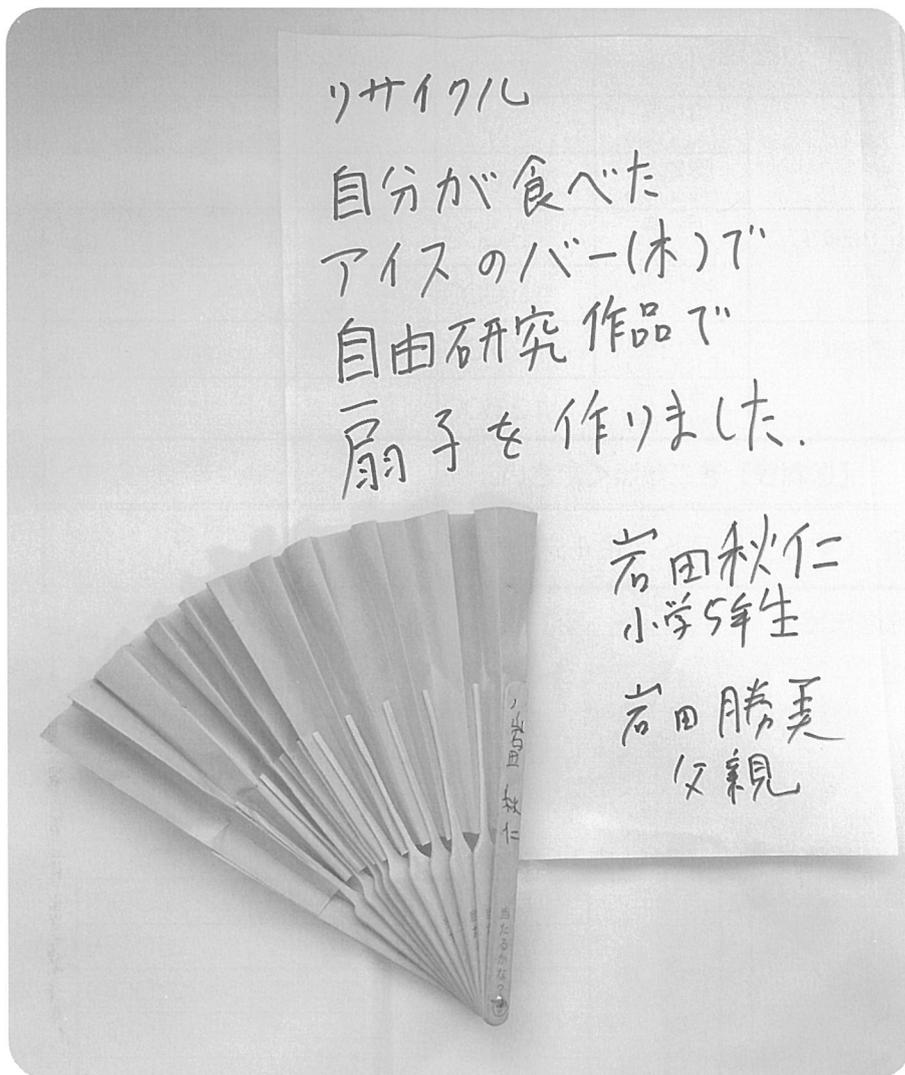
ご飯は残さずに食べる、ペットボトルや牛乳パックはリサイクルに出す、買い物はエコバッグを使う、今までかかってきただけ、もっとぼくにもできることがあるはずだ。ぼくは環境を守れるように考えて行動できる人になりたいと思う。

お母さんからのメッセージ (一部掲載)

「先日は夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーに参加させていただきありがとうございました。感想文を書いてあったのですが提出するのが遅くなりました。よろしくお願ひします。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、感想文を送っていただきました。

岩田 秋仁 さん (小5)



子供たちに自然環境の中で循環型社会形成の取り組みを体感し、環境保全や資源リサイクル、自然環境の保護の大切さについて学んでいただく環境学習イベント「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」にご参加いただきありがとうございました。

体験後のお子様のリサイクルへの意識の変化を、作品及び感想文として送っていただきありがとうございました。今後も環境学習イベントを通じ、児童の健全な育成と地球環境の保護を目指し貢献してまいります。



労働安全衛生法等の届出などをする際は、



電子申請が便利です!

労働安全衛生法等の手続のうち、約800の届出等が電子申請できます。
電子申請できる主な届出等は、以下のとおりです。

	総括安全衛生管理者/安全管理者/衛生管理者/産業医の選任報告
	定期健康診断結果報告
	心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告
☆	労働安全衛生法に基づく免許証の新規交付申請/再交付申請/ 書替え申請/更新申請 <small>注) 顔写真等を別途郵送する必要があります。</small>
	足場/局所排気装置等の設置・移転・変更届 (労働安全衛生法第88条に基づく届出)
	有害物ばく露作業報告
	労働者死傷病報告
	特定元方事業者の事業開始報告
☆	ボイラー・第一種圧力容器の構造検査・溶接検査・落成検査申請
☆	クレーンの落成検査申請
☆	移動式クレーンの製造検査申請
	特定化学物質、有機溶剤等の特殊健康診断結果報告

☆印の手続は、電子申請を行うと手数料が割引になります。

※ 詳しくは、労働基準監督署又は都道府県労働局にお問い合わせください。



上記のほか、労働安全衛生関係法令の電子申請が可能な届出等はこちらをご参照ください。

URL : <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyouku/denshi.xlsx>

電子申請の詳しい操作方法は、パンフレット「労働基準法、最低賃金法等の届出等は、電子申請が便利です!」に掲載していますので、ご覧ください。

パンフレット掲載先 : <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000184033.html>

 厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

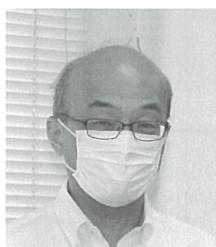
(H30.1)

NEWS

新入社員安全衛生教育・研修開催

- ・日 時：令和4年9月1日（木）午後1時30分
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- ・参加者：14名（14社）

安全衛生委員会（伊藤泰雄委員長）は、職場における安全衛生水準の向上、労働災害のより一層の減少を図るため、新入社員（概ね入社後3年以内）の安全衛生教育・研修を開催しました。



挨拶する
堀部専務理事

開会の挨拶で安全衛生副委員長の専務理事 堀部隆司氏は「本日は本新入社員安全衛生教育・研修にご参加いただきありがとうございます。本研修は、概ね入社後3年以内の新入社員に向けての研修ですが、既に就業された会社にて安全衛生の研修を受けているとは思いますが、産廃業界は非常に事故の多い業界です。本日は現場でもご活躍の2名の安全衛生委員の方を講師としてお招きしてお話しを伺いますので、本日の研修内容を明日より社内にて実践していただければと思います。」と述べました。

●研修Ⅰ：（株）リバイブ代表取締役社長 平沼伸基氏

平沼氏は最初に「ご安全に」と挨拶され、「実は私は本研修の講師を昨年も担当させていただき、今年も是非担当させて欲しいと願っていました。何故かという、怪我をしてまでする仕事はありません。しかし、当業界の仕事は危険と隣り合わせであり災害事故の発生率からも証明されているのが、この産廃業界の特徴です。“挟まれ”、“巻き込まれ”や、まさかと思うことがありますので、自分の身を守るため短い時間ですがしっかり習得をしてください。」と述べ、テキストを基に研修を進めました。「仕事への慣れ」、特に自分で勝手な判断をしてはいけないとのこと、よく耳にする「報連相」は重要であるが、プラス「確認」も必要である。また、自分の身



講師として登壇された
平沼氏



を守る『自助』、仲間の身を守る『共助』、安全な業界にする『公助』について話し、「過去の仕事を優先する業務を改め、安全のために何をしていくか心の余裕が必要であり、安全な業界であるという実態を作っていくことを推進する優秀（優しさに秀でた）な安全推進者になってください。」と研修の中で語られ、内容ごとに自社の例を交え前半の研修を行いました。

●研修Ⅱ：（株）新栄重機 専務取締役 今村昌根氏

始めに今村氏は自己紹介と会社概要を述べられ、後半内容の研修を始め、⑩整理整頓では、自社の工事現場における安全な作業に結びつけた事例を紹介されました。⑬5S運動（2）では、1. 笑顔、2. 誠実、3. スピード、4. 努力と研究、5. センス、について、この5つができれば、職場やお客さんにとっても喜ばれるとのこと、是非実践していただきたいとのことでした。研修を通じて今村氏は「産廃業界は資源循環としてこれから成長していく業界なので、災害事故が多いということは悲しいことです。各社で安全衛生の質を向上し、この業界で従事したいと思われるような業界にしていきたいと思います。」と述べ、研修を終えました。



講師として登壇された
今村氏

研修後、修了証が堀部専務理事より受講者に手渡され閉会となりました。

※今号の安全衛生情報では、（株）新栄重機の取組について掲載をさせていただいております。

NEWS

産業廃棄物処理に係る「第33回実務者研修会」開催

- ・日 時：令和4年9月6日（火）午前10時
- ・場 所：名古屋国際会議場 211・212 展示室
（名古屋市熱田区）
- ・参加者：107名（67社）

排出事業者及び廃棄物処理事業者の実務担当者を対象とした「第33回実務者研修会」（実務基礎コース研修会）を開催しました。

- 10：05～12：00 産業廃棄物処理の基礎
- 13：00～14：00 産業廃棄物の委託処理と委託契約書
- 14：10～14：50 産業廃棄物管理票（マニフェスト）
- 14：50～15：10 帳簿
- 15：15～15：25「研修修了証」授与

開会の挨拶で専務理事 堀部隆司氏は「皆さんご存じのように廃棄物処理法は非常に厳しい規制があり、平成28年の不適正処理事案を契機に、当協会が主催する実務者研修会や協会支部が主催する法令講習会に3年に1回は必ず参加することを誓約していただいております。法改正が行われたこと気づかず、知らないうちに法を犯してしまうことがあり、会社の不利益となってしまうこともありますので、本研修でしっかり法律の基礎を習得してください。研修の中では、実務で迷われるような事例をクイズ形式で質問をさせていただきますので、ご自身の理解度を測っていただくこともできます。」と述べ、同氏が講師となり「産業廃棄物処理の基礎」の研修が始まりました。



「産業廃棄物処理の基礎」を講義する堀部専務理事

まず、本年4月1日から施行されたプラスチック資源循環促進法についての概要の説明後、廃棄物処理法の枠組み、産業廃棄物処理業の特徴、保管基準、処理基準、許可基準、欠格要件、罰則等の基礎知識の説明がありました。



講師の小坂事務局長

「産業廃棄物の委託処理と委託契約書」は事務局長 小坂元信氏が講師となり、覚書の運用、委託契約書の電子化について、電子版産業廃棄物処理委託契約書について等説明がありました。

「帳簿」も、同氏が担当し、処理業者は事業場ごとに備付け、一年ごとに閉鎖、保存期間は閉鎖後5年間、かつ事業場ごとに保存し、虚偽の記録や保存しなかった場合、30万円以下の罰金に処される等の説明がありました。



講師の小野田環境アドバイザー

「産業廃棄物管理票（マニフェスト）は環境アドバイザー小野田敏也氏が講師となり、廃棄物管理票制度の運用例、紛失時の措置、紙マニフェスト、電子マニフェスト、マニフェストが不要な場合等について、説明がありました。研修終了後、受講者に修了証が授与され閉会となりました。

研修時、配布される資料（愛産協作成版）は、開催ごとに内容が精査され、法令等についてはその年の最新情報が掲載されていますので、是非、多くの方に受講していただきますようお願い申し上げます。



「産業廃棄物処理の基礎」を講義する堀部専務理事

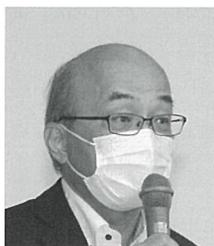
NEWS

不当要求防止責任者講習会開催

- ・日 時：令和4年9月22日（木）午後1時30分
- ・場 所：名古屋国際会議場 211・212 展示室
（名古屋市熱田区）
- ・参加者：88名（74社）

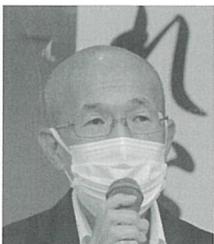
愛知県警の「不当要求防止責任者講習会（原則3年毎の更新）は、前回令和元年9月26日に開催され3年が経過しましたので今年度開催されました。

受講につきましては、現在『不当要求防止責任者』に選任されている方を優先しますが、新たに登録される方も受け付け致しますので積極的に受講をしていただきますよう案内がありました。



挨拶する堀部専務理事

開会の挨拶で専務理事 堀部隆司氏は、「『不当要求防止責任者』講習会は、当協会では平成14年6月に初めて開催して以来、3年毎に開催しております。特に暴力団の資金源としてターゲットになりやすい産廃業界は、企業として自己防衛の為に事業所毎に責任者を置いていただき、その責任者に必要な知識、技能を習得いただくための重要な講習会です。廃棄物処理法の欠格要件にも明確に規定されており、我々産廃業界にとりまして大変影響の大きい問題ですので、本日の講義内容をしっかり学び企業経営に生かしていただきますようお願いします。」と述べました。



講師の井上講習部長

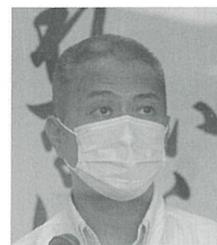
講習会は（公財）暴力追放愛知県民会議講習部長 井上信一氏が講師となり、冒頭の挨拶で「本講習会は、暴力団対策法に基づき愛知県公安委員会が開催する講習会ですので終了後は受講修了書を発行致します。併せて暴追ステッカーをお渡ししますので、会社の中に貼っていただき明示してください。」と述べ、〈責任者講習の意義、目



ビデオ映像による講習

的、法的根拠について）、〈暴力団対策法・暴力団排除条例〉について『不当要求防止責任者教本 ～暴力団撃墜マニュアル～』を基に講義を行いました。

続いて、警察本部捜査第四課警部補 岡村政輝氏が講師となり、始めに「日頃は警察業務にご理解ご協力をいただき大変感謝しております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。」と述べ、〈暴力団の現状〉、〈暴力団の動向〉、〈暴力団の取締状況〉について講義を行いました。



講師の岡村警部補

次に、（公財）暴力追放愛知県民会議の井上講習部長が講師となり、〈反社会的勢力〉、〈暴力団等反社会的勢力の排除〉、〈平素からの反社会的勢力対策〉、〈不当要求に対する対応方法〉について講義を行い、ビデオ上映『不当要求対策 ～絶対に負けません～』を見ての講習を受け、全ての講義が終了しました。

受講修了書は井上講習部長が修了書を読み上げ、受講者代表に授与して講習会は閉会となりました。



井上講習部長から受講修了書の授与（代表者のみ）

NEWS

サーキュラーエコノミー型ビジネス創出研究会 ビジネスセミナー報告

- ・日 時：令和4年7月13日（水）午後1時30分
- ・場 所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）
5階 小ホール2（名古屋市市中村区）
- ・主 催：愛知県
環境パートナーシップ・CLUB

愛知県では、先導的な循環ビジネスの振興を支援するため、産業廃棄物税を活用し、環境パートナーシップ・CLUB（略称：EPOC）と共同で、「循環ビジネスセミナー」を毎年開催しています。

今回のセミナーは、「サーキュラーエコノミー型ビジネスへの転換を目指して」をテーマに開催し、企業がサーキュラーエコノミーへ移行する意義についての講演とパネルディスカッションを行いました。

開会の挨拶後、基調講演が行われ「なぜ企業がサーキュラーエコノミーに移行すべきなのか」と題し、（一社）サーキュラーエコノミー・ジャパン代表理事 中石和良氏が講演しました。

次に、「サーキュラー型ビジネスモデルのためのバリューチェーン連携・協働について」と題し、パネルディスカッションが行われ、パネリストとして参加された当協会員の（株）ダイセキ代表取締役社長の山本哲也氏はパネリスト略歴内で、『製造業を中心とするお客様と所轄行政のご協力・ご支援を得て、有害廃棄物を含む特別管理産業廃棄物の許可取得・処理体制整備や、産業廃棄物リサイクルによる「(埋め立て廃棄物)ゼロエミッション」、「カーボ

ンニュートラル」の実現に「限られた資源を活かして使う＝ダイセキ」として取り組み、平成26年度「静脈産業一体型の産業構造の構築に関する戦略検討会（経済産業省）」に委員として参加』と紹介されていました。（略歴につきましては配布資料一部引用）

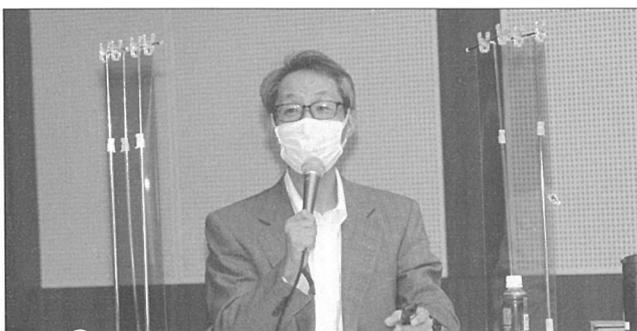
山本社長はパネリストとして、「産業廃棄物リサイクルとサーキュラーエコノミー」と題して、以下の内容について述べました。

1. ダイセキ ～産業廃棄物リサイクル～
2. ダイセキとサーキュラーエコノミー（CE）
3. ダイセキのCE型リサイクル
4. CE型廃棄物リサイクルの「ポイント」
※バリューチェーン全体での連携・協働の仕組み
5. CE型廃棄物リサイクルに向けて
※バリューチェーン全体での連携・協働の仕組み

中でも、2では、サーキュラーエコノミーとは、サークル＝輪×エコノミー＝経済（循環する経済）と説明され、ダイセキが行うサーキュラーエコノミーとは、“埋め立て廃棄物のゼロエミッション”、“カーボンニュートラルのための燃料リサイクル”、“サーキュラーエコノミーのためのCE型リサイクル”を提案し、CEで4つの無駄（資源の無駄、キャパシティ（能力）の無駄、ライフサイクルの無駄、潜在価値の無駄）をなくすとのこと。また、4の「ポイント」とは、CE型リサイクルがビジネスとして成り立つために必要な要件が、利用用途（二次原料が再製品原料として利用される用途が必要）、品質（二次原料として使用できる品質の確保が必要）、コスト（ビジネスとして成立するためにはコスト条件をクリアする必要）、取扱量（リサイクル＝装置産業 設備に見合う原料集荷が必要／安定した需給バランスが必要）であるとのこと。最後に、

「限られた資源を使う」
ダイセキ×サーキュラー・エコノミー
「知恵と工夫と行動力+α」で！

とまとめられました。



パネリストとして発表する（株）ダイセキの山本社長

NEWS

藤前干潟ラムサール条約登録20周年 環境デーなごや2022 ～つなげよう！命の輝き いきものつながり～

- ・日 時：令和4年9月17日（土）午前10時
- ・場 所：中央行事久屋大通公園（名古屋市中区）

今年度の「環境デーなごや2022」のテーマは、「藤前干潟ラムサール条約登録20周年 ～つなげよう！命の輝き いきものつながり～」です。

埋立処分場計画を断念し守られた藤前干潟は、重要な渡り鳥の飛来地として、2002年にラムサール条約の登録湿地になりました。登録20周年を契機に生物多様性についてあらためて考え、持続可能な未来に向けて一人ひとりが取り組むきっかけとなるようにと考えられたものです。

“環境デーなごや”への出展は2019年以降、3年ぶりとなり、以前はエンゼル広場での出展が続きましたが、今年はエディオン久屋広場での出展となりました。ブースでの作業・作品づくりの際のお願いとして、マスクの着用、入・退場時の手指消毒、人との距離を取り、愛産協スタッフへ用事がある時

は合図をして下さい、とのメモを作業台に貼るなどの配慮をして、参加者の皆様に楽しんでいただく準備をしました。

開場の時間と共に来場者が訪れ、押し花づくりやペーパークラフトで昆虫を作成していました。作品づくりのお手伝いは、環境イベント等に長く携わってこられた浦田恵美子氏を始めとした、いつもの方々が担当され、多数の来場者の方が10分以内（感染防止の配慮から）で完成できるようサポートしました。他には、「AELネット」の環境学習スタンプ帳の押印、「SDGs巡って学ぼうシールラリー」のシール貼りなど、環境に関心を持つきっかけとなるよう、押印時やシールを貼る際、SDGsについて話しをしました。また、ブース壁面には「54市町村との災害時における廃棄物の処理等に関する協定」、「災害廃棄物仮置場設置・運営訓練」など最新の写真パネルを多数掲示し、愛産協の取組を多くの方に知っていただく良い機会となりました。



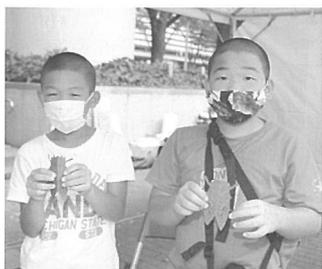
愛産協ブース内



アドバイスを受けながら作品を作成



令和4年度名古屋SDGsグリーンパートナーズ優秀賞表彰式の加山興業（株）加山順一郎氏



愛産協ブースで作成した作品をご披露していただきました参加者の皆様

SDGsのシールを職員に貼ってもらう

NEWS

SDGs 推進フェア SDGs AICHI EXPO 2022



開催会場にて挨拶をする愛知県知事 大村秀章氏

『「あいち発 未来共創パートナーシップ」～カーボンニュートラル・ローカルSDGsの実現に向けて～』を開催テーマとして、令和4年10月6日（木）から8日（土）にかけて愛知県常滑市にある愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）で日本最大級のSDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO 2022」が開催されました。

このイベントは、SDGs達成の目標年である2030年へ向けて、地域が抱える様々な課題を、環境を切り口に統合的に解決し、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会、多様性社会といったあらゆる社会的テーマをパートナーシップのもとで同時に実現していくため、企業や自治体、NPO、学校／大学など多主体、多世代が連携して開催されるイベントであることを活かし、SDGs時代に相応しい未来に向けた新しいパートナーシップを共創することを目指しています。

開催テーマに基づき、5つのテーマゾーンが設けられ、①脱炭素社会の実現エリア ②循環型社会の実現エリア ③自然共生社会の実現エリア ④多様性社会の実現エリア ⑤次世代の人づくりエリアが会場全体にゾーニングされ、118団体が出展しました。

当協会は、循環型社会の実現エリアにブース出展を行い、協会の活動をパネルで紹介するとともに、廃プラスチックからつくるサステナブルなアクセサリーの展示を行い沢山の方にご来場いただきました。また、パネルに記載されている内容についてのクイズに答えていただき、全問正解の方に、抽選で協会会員企業が作成した廃プラスチックから作られた「hana jewelry」のヘアゴムをノベルティとして配布しました。

クイズの欄外に協会活動についての意見をご記入いただいたところ、「不法投棄廃棄物の撤去や廃プラスチックを再利用する等、とても地球環境にやさしいなと感じました。」「廃プラスチックを素敵なアクセサリーに変えることは環境にもいいし、私達も楽しく取り組みを知るきっかけになり良いと思いました。」等沢山のご意見をいただくとともに、協会の活動をご理解いただく良い機会となりました。

ステージイベントでは、SDGsをビジネスに生かすヒントとなる講演やセミナーの開催、及び劇団シンデレラによるSDGsミュージカル「ぼくこの森に棲んでいます」等が開催され、多くの来場者の共感を得ていました。

来場者数は、1日目3,883人、2日目5,196人、3日目4,554人の合計13,633人でした。



協会活動の展示パネルを熱心に見入る来場者の方々

※「hana jewelry」のヘアゴムについては「資源循環レポート」をご参照願います。

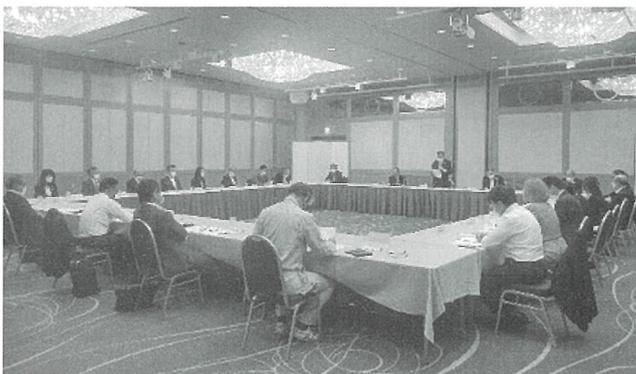
令和4年度 中部地域協議会 第1回全体会議開催

令和4年9月30日（金）午後3時よりホテルグランヒルズ静岡（静岡県静岡市）において、令和4年度中部地域協議会第1回全体会議が開催されました。

会議には（公社）全国産業資源循環連合会専務理事森谷賢氏や中部四県（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）の産業廃棄物協会会長、副会長、理事等26名が出席しました。

開催県協会の（公社）静岡県産業廃棄物協会会長岩間雄一氏が開会挨拶をし、中部地域協議会会長永井良一氏から挨拶がありました。次に（公社）全国産業資源循環連合会専務理事森谷賢氏の来賓挨拶がありました。

岩間会長からは、9月23日に静岡県を襲った台風15号による豪雨災害について被害状況と磐田市・静岡市等からの協力要請への対応状況について紹介がありました。また、昨年年第1回全体会議で愛知県協会の東久保女性部会長から中部四県協会で女性部会の設立について熱心なお誘いがあり、令和4年5月に岐阜県協会で女性部会が設立され、静岡県協会では海野副会長が部会長として令和5年2月の設立総会に向けて準備中で、三重県協会も女性部の設立に向け準備を進めているとの紹介がありました。また、新型コロナウイルス感染症の第7波の感染者数が減少している中で会議を開くことができ、活発な議論をしていただき、有意義な会議となることを願っていますと挨拶がありました。



永井中部地域協議会会長からは、台風14号及び静岡県の各地を襲った15号による豪雨災害に対するお見舞いがありました。続いて、昨年度から連合会と中部四県協会で「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物収集運搬業の更新許可申請に関する講習会」の独自開催について本年秋には開催できるように準備を進めてきましたが、現在、許可講習会を主催している（公財）日本産業廃棄物処理振興センターとの話し合いの結果、実施を取り止めることになり、代わりに振興センターで本年9月から12月にかけて四県で視聴型許可講習会の開催が計画され、来年度からは対面型の講習会も一部計画されているとの報告がありました。四県協会で独自開催を準備していた事務局に対してこの経験を活かし、今後の中部地域協議会の活動に活かしていただければとのねぎらいの言葉がありました。また、連合会の最重要課題である「産業資源の循環的な利用を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」について、各県協会と力を合わせ、議員立法化への働きかけと、業界発展に努めてまいりたいと考えており、本日の全体会議が実りある会議となりますよう皆さんの熱いご議論を期待しますと挨拶がありました。

森谷専務理事からは、災害廃棄物委員会の開催状況や、令和3年における廃棄物処理業における災害発生状況で全国の死傷病者数1,503人の内、47都道府県協会で573人を占め、危機的な状況になっているとの報告がありました。また、11月18日に女性部会の全国展開を期し、全産連女性部協議会設立総会が予定されています。本日も四県協会の女性部の主要な方々が参席されていますので、皆様のご協力とご支援をよろしく申し上げますと挨拶がありました。

会議では永井会長を議長に選出し、配布資料をもとに議案・審議が行われました。

NEWS

- (1) 令和3年度中部地域協議会事業報告書について
- (2) 令和3年度中部地域協議会収支決算報告及び監査報告について
- (3) 令和4年度中部地域協議会事業計画について
- (4) 令和4年度中部地域協議会収支予算について
- (5) (公社) 全国産業資源循環連合会の役員等について
- (6) 各県協会の役員等について
- (7) 台風15号による災害廃棄物処理への静岡県協会の対応等について
- (8) (公社) 全国産業資源循環連合会中部地域協議会における資料について
- (9) (公社) 全国産業資源循環連合会と中部地域協議会各県協会との情報交換について

(1) から (5) までの議案は全て原案通り承認されました。

(6) については、各県協会から役員及び職員の担当業務について説明がありました。

(7) については、静岡県協会の松浦専務理事から被害状況及び協力要請のあった磐田市、静岡市、島田市、藤枝市への各支部における対応についての説明と、令和3年7月に発生した熱海市伊豆山土石流災害の令和4年9月現在の対応状況について説明がありました。併せて、令和4年7月1日に施行された静岡県盛土等の規制に関する条例の概要及び条例の施行に伴う留意事項について説明がありました。

(8) について全産連森谷専務理事から資料の「連合会からの正会員へのマニフェスト譲渡価格について」では47協会のうち連合会マニフェストで7協会が26円/枚のまま据え置き、建設マニフェストでは25協会が25円/枚に据え置きとの報告がありました。

(9) の情報交換について、特段意見はありませんでした。

(10) その他では、四県協会の女性部会の設立状況について説明がありました。

永井会長からは全産連女性部会設立総会の開催が予定されており、皆さんで女性部会を盛り上げて頂くようお願いがあり、全体会議は盛況のうちに閉会しました。

<出席者>

- (公社) 全国産業資源循環連合会 専務理事 森谷 賢
中部地域協議会会長兼
- (一社) 愛知県産業資源循環協会 会長 永井 良一
副会長 中野 兼司
専務理事 堀部 隆司
常務理事 相木 徹
理事・女性部会長 東久保真弓
事務局長 小坂 元信
- (一社) 岐阜県産業環境保全協会 会長 澤田 裕二
副会長 丹羽 武
副会長 石原 幸喜
専務理事 大坪 敬明
理事・女性部会副会長 後藤 和恵
女性部会副会長 峠 テル子
- (公社) 静岡県産業廃棄物協会 会長 岩間 雄一
副会長・中間処理部会長 渡辺 和良
副会長・運営委員長 海野ひろみ
専務理事 松浦 敏明
理事・適正処理委員長 白井 浩行
理事・災害対策委員長 森 勝久
理事・建設廃棄物部会長 梅原 義隆
理事・青年部会長 熊王 紀夫
- (一社) 三重県産業廃棄物協会 副会長 伊藤 靖則
副会長 筒井 照雄
専務理事 和田 一人
理事・総務委員長 光友 裕昭
女性委員会 三浦 真世



産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例



安全衛生情報では会員各社の社内における安全衛生の具体的な取組事例をご紹介します。

今回ご協力いただきました会員企業は、昭和53年重機土木工事者として新栄重機（株）設立、平成7年（株）新栄重機に変更、平成10年産業廃棄物収集・運搬業許可取得、同年事業開始。平成12年産業廃棄物中間処理業許可取得、同年事業開始。中間処理許可品目は無機性汚泥。平成19年中間処理場施設設備の全面改修。平成21年環境省指定土壌汚染指定調査機関の認定を受け、同年業務開始。平成28年郷西事務センター社屋建設本社機能移転。平成30年グループ会社（株）ワンダーウォール、中間処理施設業務開始。45年という歴史を持つ関連事業の運営における安全衛生の取組について、今年度から愛産協の安全衛生委員を務められている専務取締役の今村昌根氏にお話しを伺いました。

弊社は、事業部門が6部門（土木、クリーナー、リサイクル、マテリアル、運送（運搬）、車両整備）、業務部門が2部門（営業、経理・総務）にて業務を運営しております。ダンプカー、バキュームカー、高圧洗浄車、ポンプ車等の工事車両約60台が、現場への搬入・搬出等の重責を担っています。日々多くの大型車両が運行しているため、運転操作及び作業においては安全第一を掲げ、安全衛生運営委員会を中心とした各取組を、部署ごとに実施しておりますので、今回いくつかの具体的な取組事例をご紹介します。



社内の取組事例についてお話しされた今村専務取締役

（今村専務取締役談）

◆安全衛生運営委員会 2回 / 月 開催

7～8名（各部署から選出）で構成

・7月事例

◎職場での熱中症対策

- ①作業中（空調服の着用、こまめな水分補給と休憩）
- ②各自の体調管理（睡眠時間の確保、疲労を貯めない）

◎安全パトロール

建設課現場、クリーナー課現場、プラントの3部署の担当者が、担当地域部をパトロールする。

◎BCPの備品管理

本社・営業所・支店において担当者がリストアッ

プして調達をしておく。

◎10月の衛生月間

「安全大会」の開催（1回 / 年）

安全衛生運営委員会での決定事項は、各部署へ委員会から通達をする。

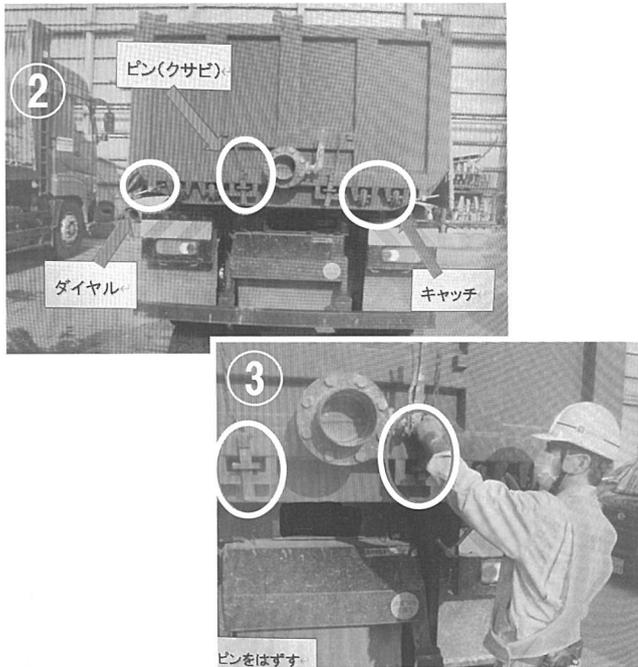
◆プラント内での取組事例

プラントに入ってきたダンプカーは、車を停車した位置の目の前に①の看板があり、その手順に従い、必ずキャッチピンを外すよう目視確認の意識付けを行っています。

併せて、車両を誘導する者が、キャッチピンを乗務員が外したどうかを確認することが、自社内での取組です。

また、外国人作業員のために『安全確認!』の手順を英語とポルトガル語で表記し、従業員全員が安





全な業務が行えるような体制が整っています。

現在、プラント内では**事故ゼロ**を継続しているとのこと。この目標が達成できているのは、運営管理部長の山田義秋氏の安全衛生への熱心な取組によるものとのこと。

◆講習会・訓練等

「安全運転講習」小牧警察署から講師を招き開催
(1～2回/年)

災害訓練は、災害時を想定し各部署における緊急時の対応について訓練を行います。

特に消火器は社内各所に設置されていますが、実



小牧警察署から講師を招き「安全運転講習」を開催



社内における災害訓練の説明、役割を傳達する



災害訓練時に実際に消火器を使い操作手順の確認を行う

山田部長から一言

弊社では、安全はもちろんのこと『事故無し、怪我無し』で、家族に「ただいま」と元気な声で笑顔を持って帰り、家族が安心して暮らせる安全対策を日頃呼びかけています。そのためにも、安全衛生社員教育等を受講し、習得した内容を遵守して意識統一を図り、人と人とのつながりを大切にしています。

作業員の意識の高さが、プラント内での事故ゼロという誇れる実績となっていますので、今後も一致団結して推進してまいります。

皆様に、弊社の『安全はすべてに優先する』の安全訓を送らせていただきます。



(株)新栄重機
山田運営管理部長

企業訪問 資源循環レポート

hana jewelry: (有) 愛知環境センター



廃プラスチックでつくる
世界にひとつのアクセサリー。

hana jewelry

by 有限会社愛知環境センター



hana jewelry: 有限会社愛知環境センター

■代表者/代表取締役社長 東久保 翔平

■所在地/愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目205番地

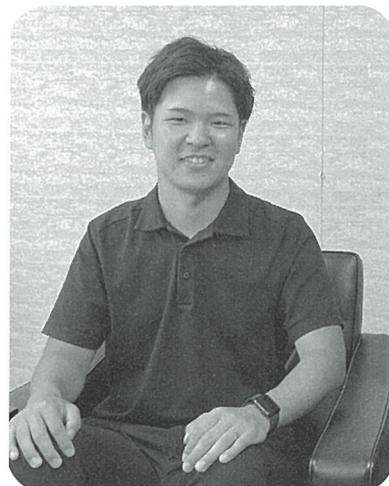
TEL 0587-95-5317 FAX 0587-95-7186

平成10年に有限会社愛知環境センターを設立し、圧縮施設、破碎施設、減容固化施設を所有する産業廃棄物中間処理場を運営。平成21年にフラフ燃料製造事業を開始し、令和3年に破碎施設を追加。同年10月に代表取締役会長に東久保真弓氏、代表取締役社長に東久保翔平氏が就任しました。

同社は中間処理、収集運搬を主軸に事業を運営しており、特に廃プラスチックのリサイクル（フラフ燃料製造）に注力した取組を行っています。

フラフ燃料とは、主に軟質の廃プラスチック類や紙くずを原料とした石炭の代替燃料です。それらの原料を複数の大型破碎機で細かく破碎し、圧縮・梱包したものを製紙メーカーやセメント工場に出荷しています。同社のプラントは、県内では最大級の処理能力を持ち、年間約8,000tのフラフ燃料を製造しています。

今号では、廃棄物として搬入された多くの廃プラスチック類（以下「廃プラ」という。）の有効利用方法や同社が取組む新しい試みについて、代表取締役社長の東久保翔平氏からお話を伺いました。



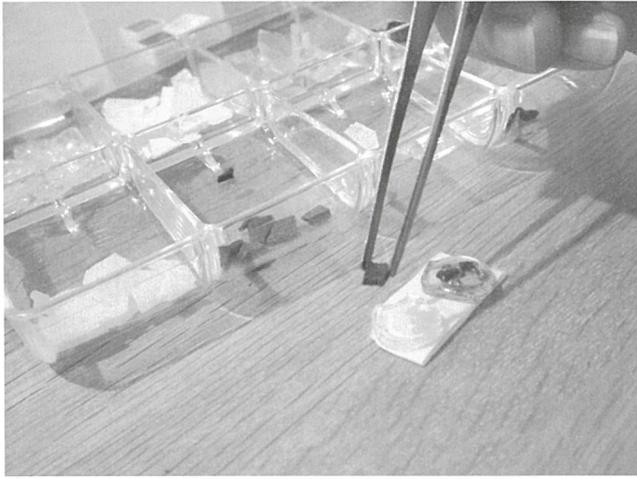
(有) 愛知環境センター 東久保社長

■発想の転換

現代の社会問題として注目される廃プラですが、2022年4月1日から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。

業界においても廃プラへの対応が、個々の企業努力として多くの課題と社会的責務が課せられています。

そのような中、弊社で製造するフラフ燃料の原料



ひとつ、ひとつハンドメイドで、心を込めて製作された一点物です

として使用することが難しい硬質系のプラスチックの有効活用方法を模索していました。また、私たち廃棄物処理業界のイメージアップを図っていきたいという想いも同時に強く持っており、これまでの「B to B」の事業に加えて、「B to C」の事業モデルへの取組が必要だと考えていました。

そこで行き着いたのが廃プラを材料にしたハンドメイドアクセサリーの製作・ブランド展開です。これは（一社）愛知県産業資源循環協会 女性部会長でもある弊社会長の発案から実現したものです。女性ならではの柔軟な発想から「hana jewelry」が誕生しました。

■プラスチックの資源循環

弊社のリサイクル工場に運ばれてきた廃棄物の中から、アクセサリーに使用できそうなプラスチックを選別し、それを一度洗浄してから細かく砕きます。砕いたプラスチックはもう一度洗浄・消毒し、ヤスリをかけて角を落とします。ものによってはオーブントースターを使用して熱を加え、光沢をつけたりしています。

「hana jewelry」のクリエイターは社内の有志数名で構成されており、一つ一つ異なる素材の色や形に合わせてクリエイターがデザインし、手作業で作ります。

私自身もECサイトの構築や各SNSの運用等、ブランドの運営全般を手掛けています。また、ポスターやチラシ等の販促品のデザインもクリエイターらと相談して製作します。ECサイトやSNSにて発信することにより、新たな顧客獲得はもとより、



SDGs AICHI EXPO 2022(10/6~8)に出展した「hana jewelry」の展示ブースの様子

一般の方に対する資源循環への意識啓発に繋がっているという手応えを感じました。

また、アクセサリー製作を始めたことによって社内の雰囲気はより明るく華やかになり、男性社員も廃棄物の選別中にきれいな素材を見つけると、製作現場に持ってきてくれるようになりました。社員それぞれが自分の持ち場でできる資源循環に関心を持ち、社内にさらなる一体感が生まれたような気がします。さらに将来的には、「hana jewelry」単体で雇用を作りたいと考えています。

廃プラの資源循環は私たちの業界が目標とする大きなテーマですが、少し視点を変えることにより、もっと身近なものに生まれ変わるチャンスがあるのではないかと、この取組から気付くことができました。今後はポップアップ（期間限定店舗）での販売や、アクセサリー作りのワークショップなども企画しておりますので、ぜひご参加ください。

<https://hanajewelry.official.ec/>



SDGs AICHI EXPO 2022において、ノベルティとして100個配布された「hana jewelry」のヘアゴム

名古屋支部 令和4年度 天子田学区自主防災訓練参加及び 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練実施

名古屋支部（永井弘児支部長）は令和4年度 天子田学区自主防災訓練に参加し、災害廃棄物仮置場設置・運営訓練を行いました。

- 日 時：令和4年7月24日（日）
午前9時30分～
- 場 所：天子田小学校（名古屋市守山区）
- 参加者：守山区役所、守山消防署、上下水道局東部営業センター、守山環境事業所、環境局事業部作業課、環境局施設部施設課、災害対策委員（区政協力委員）、各町内組長、学区連絡協議会、天子田学区消防団、（一社）愛知県産業資源循環協会 名古屋支部

令和4年度 天子田学区自主防災訓練が、行政及び関係部署や学区関係団体により行われ、その中で名古屋支部は「災害廃棄物仮置場設置・運営訓練」を、同小学校グラウンドにて行いました。

開催にあたり体育館にて開会式が行われ、天子田学区連絡協議会会長 宮治久仁旺氏が開会挨拶を述べ、次に守山区役所区政部総務課防災担当主査 富樫 穰氏が防災訓練についての概要を述べ、関係者の挨拶・紹介等の後、グラウンドにて「防災倉庫確認」、「仮設トイレ組立」、「地震体験」、「地下式給水栓」、「ごみの仮置場」について、参加者の方へ、発災時における各用具の使い方等を啓発しました。

なお、発災時には小学校のグラウンドが仮置場になることはありませんが、今回は住民啓発も兼ねて、小学校のグラウンドで実施しました。

名古屋支部 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練

◎参加者18名

【名古屋市】

名古屋市環境局事業部長 鬼頭秀一氏、始め8名

【名古屋支部】

永井良一会長（永一産商（株））、永井弘児支部長（永一産商（株））、浅井明利副支部長（（有）浅井商店）、新美三良委員（（有）三洋サービス）、西山幸光委員（（株）西山商店）、小野島常夫委員（ヤマケン（株））、山本浩也委員 及び 入野智樹オブザーバー（（株）ダイセキ環境ソリューション）

【（一社）愛知県産業資源循環協会 事務局】

堀部隆司専務理事、小坂元信事務局長

◎協力車両

普通車5台、軽トラック1台、2tクレーン車1台

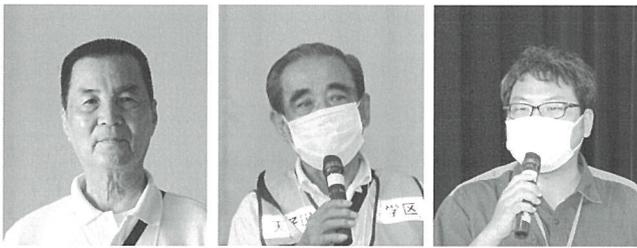
◎仮置場設置・運営訓練開始

1) 訓練内容の最終確認

- ・集合場所であるテント内で行政の方を交えて、訓練における役割、手順を確認。グラウンド内での安全走行厳守の通達。

2) 仮置場設置（資機材設置等）

- ・レイアウト図^{*1}を基に、品目看板（リサイクル家電、畳、木くず、土砂、布団等の名称を記載）を設置



天子田学区区政協力委員長 長谷川好嗣氏

挨拶する宮治連絡協議会会長

挨拶する守山区役所防災担当富樫主査



発災時の災害廃棄物をどのように処理をするのかパネルで解説

給水栓の役割を説明し、試薬を使って飲用できるか検査方法を見せる



災害時における仮設トイレの組立と説明を行う

防災倉庫に何が格納されているのか説明し、発災時の利用について話す

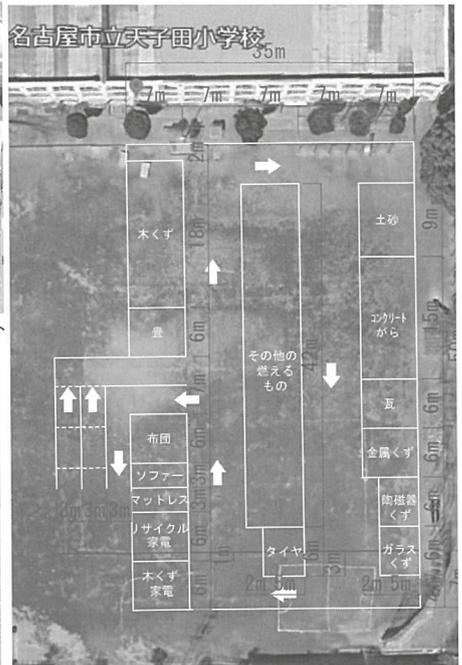
名古屋支部仮置場設置・運営訓練の様子



仮置場レイアウト図*1を基に種類ごとに災害廃棄物の置場を設定



グラウンドに設置されたテント内で訓練の打ち合わせを行う



天子田小学校グラウンドの仮置場レイアウト図*1



仮置場に入る車両は、受付係の確認後、入場の誘導指示を待つ



仮置場に入る車に、安全かつ速やかに誘導指示を出す



持ち込んだ仮想災害廃棄物を品目別に指定の場所に置く



仮置場にて廃棄物を降ろした車の安全な走行を確認し、指示を出す永井会長



行政の方々に仮置場の訓練の進捗状況を伝え、今後の展開を話される永井会長

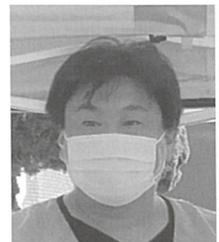


永井会長が運搬車両を運転され、場内の災害廃棄物を回収するデモンストレーションを行う

- ・搬入車両の通路を区分けして、順路を白線で引き、ブルーシートで廃棄物を置く場所を設置
- 3) 災害廃棄物の受付・受け入れ
 - ・搬入経路の確認
 - ・分別搬入を優先して受け入れるファストレーン方式を実施し、混載との荷下ろしの時間差を確認
- 4) 災害廃棄物の搬入・積み下ろし
 - ・冷蔵庫や畳、布団等の各名称を段ボール箱(仮想災害廃棄物)に明記し、仮想災害廃棄物として使用
 - ・支部会員数名が普通車両及び軽トラックに乗り、段ボール箱を積み込み、品目看板前で車両を止め、段ボール箱を置く
- 5) 災害廃棄物の搬出
 - ・2tクレーン車は各品目看板前に置かれた段ボール箱を回収する

※訓練終了後は関係者全員で、落下物の確認、車両誘導等の白線を消すなどグラウンドの整備をして閉会となりました。

これまで千曲市災害廃棄物処理など多くの災害廃棄物処理に関わらせていただき、“初動が命”であることを一番理解しています。被災地において、いち早く仮置場の設置・運営に取り掛かり、搬入された災害廃棄物を効率的に処理し、かつリサイクル率を高めることが重要課題です。本日の訓練で、搬入受付時での対応、搬入車両が多数押し寄せた時の対応、発災時における想定外の状況等の対策についても気づくことができました。また、地域の防災訓練ということから、行政関係者の方々、地域住民の方々にも仮置場の運営の様子を見ていただけ、発災時に役立てていただける機会となりました。本訓練の成果は、今後愛産協全体で情報共有し、より現場に即した仮置場の設置・運営の計画案として提案させていただければと考えています。



テント内で最終確認の指示をする永井支部長

支部長・永井弘児



仮置場設置・運営訓練に参加された行政の方々と名古屋支部の皆様

尾張西支部

令和4年度 北名古屋市総合防災訓練参加及び 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練実施

尾張西支部（富田昭夫支部長）は、令和4年度北名古屋市総合防災訓練に参加し、災害廃棄物仮置場設置・運営訓練を行いました。

- 日 時：令和4年9月25日（日）
午前9時～
- 場 所：トラスコ中山（株）プラネット愛知建設予定地（北名古屋市沖村地内）
- 参加者：北名古屋市、（一社）愛知県産業資源循環協会、北名古屋市建設業協議会（がれき類の搬入・搬出）
（総合防災訓練には、愛知県、陸上自衛隊始め32の団体等が参加）

尾張西支部 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練

◎参加者28名

【北名古屋市】

北名古屋市防災環境部環境課長 島田恭弘氏、始め計9名

【尾張西支部】

富田昭夫支部長、他1名（（株）富田商店）、中島博史副支部長、他1名（昭栄金属（株））、藤本和也委員、他1名（（株）ワールドクリーン）、鬼頭弘委員（丸真（株））、平沼伸基委員（（株）リバイブ）、加藤慎史委員、他1名（（株）海部清掃）、伊藤大蔵委員（（有）丸公建材）、高山正委員（I B ミヤザワ（株））、山本浩也災害廃棄物対策特別委員長及び入野智樹オブザーバー（（株）ダイセキ環境ソリューション） 計14名

【（一社）愛知県産業資源循環協会 事務局】

永井良一会長（永一産商（株））、新美三良副会長（（有）三洋サービス）、相木徹常務理事（オオブユニティ（株））、堀部隆司専務理事（事務局）、永井弘児災害廃棄物対策特別副委員長（永一産商（株）） 計5名

◎協力車両

8tクレーン車3台、8tトラック5台 計8台

◎仮置場設置・運営訓練開始

1) 訓練内容等の最終確認

- ・駐車場にて、行政を交えて訓練における役割、

手順の確認及びグラウンド内での安全走行厳守を確認

2) 仮置場設置（資機材設置等）

- ・レイアウト図を基に、搬入車両の通路を単品レーンと混載レーンに区分けする看板等の設置及び品目看板（冷蔵庫、テレビ、布団類、陶磁器類、可燃系混合物等の名称を記載）等の設置（ロープによる区割りは事前に実施済）

3) 災害廃棄物の受付・受け入れ

- ・搬入物、災害廃棄物搬入車両証、免許証等の確認
- ・分別搬入を優先して受け入れるファストレーン方式（単品レーン）を実施し、混載レーンとの荷下ろしの時間差や搬入動線を確認

4) 災害廃棄物の搬入・積み下ろし

- ・冷蔵庫、布団類、可燃系混合物等の各名称を段ボール箱に明記し、仮想災害廃棄物として使用
- ・品目看板前で車両を止め、搬入車両運転手及び作業員が段ボール箱を積み下ろす

5) 災害廃棄物の搬出

- ・各車両は、各品目看板前に車両を止め、搬入車両運転手及び作業員が、仮想災害廃棄物である段ボール箱を回収

仮置場訓練終了後は、参加者全員で看板等の撤収、落下物等を確認して仮置場を閉鎖し、行政担当者により災害対策本部へ閉鎖報告が行われました。

総合防災訓練終了後に、太田考則北名古屋市長及び神田薫北名古屋市議会議長の挨拶の後、坂田一愛知県防災安全局長から「災害が起きた際に迅速に対応するためには、関係機関の連携が大変重要となり、本日の訓練で生じた課題を整理して災害時に生かしていきたい。」との講評があり、閉会となりました。

昨今、温暖化による気候変動から日本各地に於いて自然災害が増加傾向にあり、どこで、どれくらいの規模で発生するのか予想し難い状況です。しかし、発災時における、初めに何をすべきかの『初動』において、私たち愛産協は災害廃棄物の仮置場の設置・運営、処分までを廃棄物処理のエキスパートとして、行政及び関係団体と共に対応することができます。



挨拶する
富田支部長

その為にも今回のように地域一体となった防災訓練は必要であり、今後はより実践に備えた取組を私たちは強化してまいります。

尾張南支部 武豊町へ寄付 不法投棄防止事業への支援活動

- 日 時：令和4年8月17日（水）午後4時
- 会 場：武豊町役場（知多郡武豊町）
- 出席者：7名

【武豊町】町長 靱山芳輝氏、副町長 近藤千秋氏、生活経済部部长 飯田浩雅氏、生活経済部環境課課長 北河 晃氏、生活経済部環境課課長補佐 榊原一孝氏

【(一社)愛知県産業資源循環協会】

尾張南支部長 金田英和氏、委員 永田喜裕氏

尾張南支部（金田英和支部長）は、武豊町へ不法投棄防止啓発事業及び環境美化啓発事業に貢献されたいとのことから寄付を申し出られ、武豊町役場にて靱山町長ら5名の行政ご担当者の方々と、ウイルス感染防止対策を図り対面で寄付を贈呈されました。

----- 対 談 -----

永田：尾張南支部は金田支部長を中心に、知多半島の5市5町において支部事業を長年行ってまいりました。その中でも恒例の不法投棄防止活動は毎年行政の方と共に実施してまいりましたが、この数年に渡るコロナ禍で開催が困難となりましたので、時世に即した地域への貢献を支部内で検討し、この度、寄付をさせていただければ、ということになりました。今回、武豊町様に寄付を願い出ましたのは、私たちの業務と関係の深い「公益財団法人 愛知臨海環境整備センター（ASEC）」が運営される地であり、なおかつ、武豊町の『第6次武豊町総合計画』策定の内容が、都市環境整備、災害への意識、環



左から 永田委員、金田支部長、靱山町長

境配慮の町づくり等から、「環境の町・武豊町」として感銘を受け、5市5町の中で一番最初に寄付を願い出ましたのが理由になります。特に金田支部長からの願いが強かったこともあります。

金田：これまで知多半田駅前前で不法投棄防止活動として駅の乗降客の方や通行人の方に向けて、不法投棄防止啓発メッセージ入りのティッシュを行政の方と一緒に配ったり、不法投棄防止パトールを行ってきました。しかし、コロナ禍から人が集まることは感染拡大につながるということから、支部会員の皆さんと相談し、寄付という形で不法投棄防止、防災へのご支援として地域の皆様に役立てていただきたいということになりました。

靱山町長：日頃は環境保全にご協力いただきありがとうございます。不法投棄防止活動は民間でも地域や個人でも活動されていますので、今回戴きましたご寄付はそのような活動に当てさせていただきたいと考えております。ありがとうございました。

金田：私も武豊町民の皆様の環境保全に寄与することができ感慨深いです。この場をお借りしてもうひとつ、災害廃棄物の処理について、今年の4月、2年ぶりに「災害廃棄物処理のための行政との合同会議」を開催し、その折半田市の担当者様と協会の特



左から 永田委員、金田支部長、靱山町長、近藤副町長

別委員会の方々及び尾張南支部会員で作成した『半田市災害廃棄物処理の仮置場の運営マニュアル』を
発表しました。引き続き、尾張南支部管内、半田市
以外の4市5町の行政の環境部署に携われるご担当
者と一緒に、災害廃棄物の仮置場運営マニュアル作
成に向けてご協力していくこと、それが私たちの目
標でもあります。これまで災害廃棄物処理に関して
は、東海豪雨を始めとして千曲市へ災害廃棄物処理
の応援に出向くなど、全国多数の支援に伺った経験
から、発災直後の初動対応が時系列に構築され、仮
置場の効率的な運営、災害廃棄物の迅速な処理、リ
サイクル率を上げる処理技術等、一連の流れから最
終的には災害廃棄物処理費用を抑えることを目標と
しております。愛産協には産廃処理の専門家が会員
に多数おりますので、是非ご検討いただければと思
います。

近藤副町長：うちも災害廃棄物処理計画があり仮置
場を予定している所がありますが、まだ現実化して
いない状態です。そういった意味では、災害廃棄物
処理計画は無くしてはならないので、今後ご協力い
ただければ仮置場の運営マニュアル作成に向けて調整
していきたいと思っています。

金田：現在、名古屋支部は名古屋市、尾張北支部は
豊明市、尾張南支部は半田市、東三河支部は豊橋市
と、連携して仮置場の運営マニュアルを作成しまし
た。他支部においても現在調整中のところもありま
す。運営マニュアルは実践に即して作成されていま
すので、仮置場周辺道路の渋滞を避けるための災害
廃棄物の搬入経路、ガードマンをどこに配置するの
か、それを誰が準備するのか等、発災時に混乱しな
いように細かく、行政担当者と特別委員会と支部会
員で作成していきますのでご安心ください。

粕山町長：今後、仮置場の候補地も含めて、いざと
いう時に困らないよう、地域防災を含めた災害廃棄
物処理計画の策定を進めていきたいですね。

金田：これまでの処理支援の報告から、発災直後の
3日間が勝負だという事例があります。“初動が命”
この言葉に全てが集約されています。

粕山町長：東日本大震災の時は、5町の町長で東北
の被災地を視察に行きました。被災地域によって復
興が早い地域と遅れている地域の違いを感じ、何故
復興の早さに違いがあるのか、という疑問はありま
した。しかし、いま金田支部長のお話を伺い、一
概には言えませんが、初動対応の遅れが、復興の
遅れにつながったのかもしれないですね。当町にお
いても災害廃棄物処理の対策をしなければいけない
と、被災地の視察に伺って痛感致しました。

金田：私たちは微力ではありますが、産業廃棄物処
理のプロとして地域へ貢献したいという強い想いが
ありますので、是非仮置場の運営マニュアル作成に
向けにご協力のほど宜しくお願い致します。

粕山町長：こちらこそ本日はありがとうございます。

金田：今後も顔の見える関係づくりを宜しくお願い
申し上げます。



寄付の贈呈の様子は、武豊町長ブログ「粕山芳輝
の日記」内で(↓画像)紹介していただけ、広く町
民の皆様にも周知していただきました。



午後4時15分

一般社団法人愛知県産業資源循環協会の尾張南支部長の金田並びに武豊町の会員代表の永田様
にお越しを頂きました。

協会の活動として、これまで知多半田駅周辺で不法投棄防止の周知活動を展開されてこられた
が、令和4年度より5市5町の不法投棄防止事業に活用して頂くという事業方針とされたとのこ
とでありました。



環境の町を標榜しています、武豊町をトップに選定して、20万円のご寄付を頂きました。

不法投棄防止活動に役立てたいと思います。早速、お礼状をお渡しさせて頂きました。本日は、残
暑厳し折、お越しを頂き大変ありがとうございました。

西三河支部

令和4年度 幸田町総合防災訓練参加

- 日 時：令和4年9月3日（土）午前9時
- 場 所：幸田町消防本部
愛知県額田郡幸田町大字菱池字前田
41番地1

西三河支部（石山勝範支部長）は、幸田町の「幸田町総合防災訓練」に参加しました。

主催の幸田町消防本部は、昭和22年に警防団から消防団に改革。昭和29年に豊坂村との合併により幸田町消防団に改組され9分団制233名となり、昭和41年、51年に消防団員の定数が改変され、昭和53年に定められた147名の定数で現在（平成23年度）に至っています。

（幸田町消防団の紹介HPより引用）

幸田町総合防災訓練は、平成27年（2015）9月5日の開催時の取材対応以来、本誌への掲載はありませんでしたが、本年新型コロナウイルス感染拡大への対応が社会的に徐々に緩和され、支部会員の方々が防災訓練に参加されました。

【参加者】5名

- ・金井 邦剛 副支部長（(株) 企業処理サービス）
- ・渥美 和男 副支部長（(有) 渥美商会）
- ・近藤 大樹 役員（中部保全（株））

- ・太田 忍 氏（中部保全（株））
- ・天野 晃明 役員（岡崎技研（株））

【提供車両】

- ・2トントラック - 1台：中部保全（株）

防災訓練は、9月3日午前9時に南海トラフ地震（震度6強）が発生したと発表され、幸田町役場及び幸田町消防本部を主体とする幸田町災害対策本部が設置されました。

防災訓練は地域の各団体も多く参加し、地震により家屋等が倒壊した想定で、消防署員がチェーンソーで木を切断し被災者を救出する訓練、がれきに生き埋めになった人がいないか救助犬により搜索する訓練、また、西三河支部は災害廃棄物を撤去し、集められた災害廃棄物を中部保全（株）の2トン車に積載、その後、災害廃棄物の仮置き場へ輸送する訓練等が行われました。

他にも近藤役員が消火器による消火訓練を行い、大きな炎が立ち登る場所に向けて、消火器を使って鎮火させるなど、発災時に起こりやすい火災について注意を促しました。

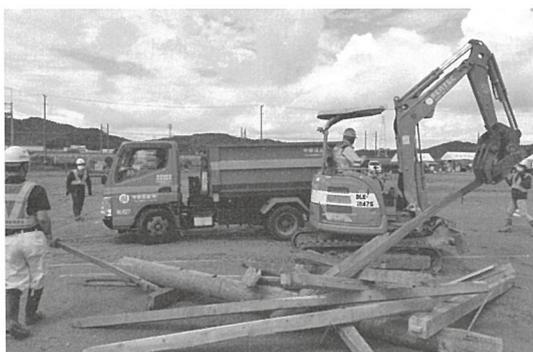
西三河支部は、現在愛知県内の各市町で災害廃棄物処理の仮置き場の設置・設営に向けて早急な取組



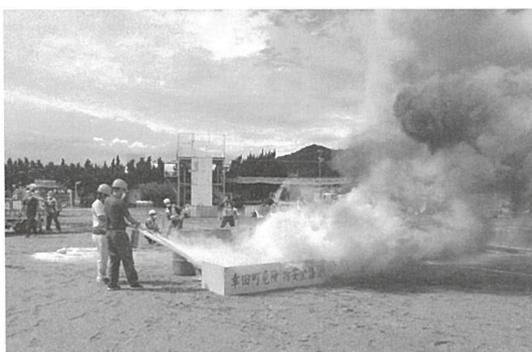
訓練に参加された方々
左から 太田氏、近藤役員、渥美副支部長、天野役員



防災訓練の場内には地震を体験できる「なまず号」があり、天野委員（左側）と渥美副支部長が震度7の揺れを体験



擬似災害廃棄物を油圧ショベルで挟み、中部保全（株）の車両に積み込む。



中部保全（株）の近藤委員が、炎から高く立ち登る黒煙を前にして消火活動を行う。



を進めている傾向を踏まえ、この機会に災害廃棄物の積み込み作業の手順について、運搬車両への擬似災害廃棄物を手際良く積み込み、なおかつ安全な作業に努めたシミュレーションを行いました。

発災時における災害廃棄物処理風景を本番さながらに再現して、多くの見学者の方に廃棄物処理業者の頼もしさを見ていただいた防災訓練となりました。



防災訓練の風景

東三河支部

7月例会

- 日 時：令和4年7月19日（火）午後3時
- 会 場：豊橋市商工会議所 3階ホール
(豊橋市花田町)
- 出席数：47名（Web参加16名含む）
- 東三河総局県民環境部環境保全課出席者：5名
主幹 天野克則氏、課長補佐 藤田清久氏、主事 高橋 優氏、技師 後藤有香氏、技師 中西輝展氏

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）の7月例会は中間処理委員会（柏原宏人委員長）が、廃棄物処理を取り巻く法改正等について講演会を開催しました。

例会は萩原裕久副委員長が司会進行を担当され、開会の辞を総務運営部会副会長 酒井正樹氏が述べ、鬼頭支部長が挨拶を述べました。柏原委員長からは、開催主旨説明で、適正処理の推進を図る上でも業務に関わる法改正について、最新の情報を周知しておくことの重要性について話がありました。

講演は後藤技師より「石綿事前調査結果報告システムのスタート」と題し、説明がありました。

令和4年4月1日着工の工事から“石綿の有無の事前調査結果の報告が施工業者（元請事業者）の義務になります！”（厚生労働省・都道府県労働局・労働基準局）について、事前調査についての概略と事前調査結果の報告につ



講演をする後藤技師

いて、誰がどこへ何の報告が必要であるか等について、報告の対象となる工事・規模基準、それらを踏まえた工事の実施における具体的な措置について、説明がありました。



石綿総合情報ポータルサイト QR コード

高橋主事からは「フロン排出抑制法 規制強化」と題して、令和2年4月に施行されたフロン排出抑制法の改正により建物解体時の規制が強化されたことにより、同法の対象となる機器、『工事の発注者、建設・解体業者、廃棄物・リサイクル業者』それぞれの改正点等について説明がありました。また、フロンは強

力な温室効果ガスであり地球温暖化に甚大な影響を及ぼすため、フロン類排出を抑制することで、地球温暖化の防止やオゾン層保護に貢献できるとのことでした。

中西技師からは「産業廃棄物処理業者の欠格要件に関して事業主が注意すべき点について」と題して、東三河管内及び愛知県内の過去の行政処分について説明があり、欠格要件の定義である13項目

- (1. 心身の故障により業務を適切にできない者として環境省令で定めるもの
 2. 破産者で復権を得ていない者
 3. 禁錮以上の刑を受け、5年経過しない者
 4. 廃掃法、特定の刑法の罪、浄化槽法、その他生活環境の保全を目的とする法令、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律、暴力行為等処罰に関する法律のいずれかの罪を犯し、罰金の刑に処せられ、5年を経過しない者
 5. 廃掃法重大違反で処理業の許可が取り消され5年を経過しない者
 6. 処理業の取り消しの通知を受けた後に、業の廃止届をした者で5年を経過しない者
 7. 6の場合に、通知の日の前の60日以内にその法人の役員、使用人であった者で、5年を経過しないもの
 8. 不正または不誠実な行為をするおそれがある相当の理由がある者
 9. 暴力団員、暴力団員であった者で5年を経過しない者
 10. 未成年者で法定代理人が1から9までのいずれかに該当する者
 11. 法人の役員または使用人のうち、1から9に該当する者
 12. 個人で使用人のうち、1から9に該当する者
 13. 暴力団員等がその事業活動を支配する者
- の詳しい説明があり、まとめとして間違えやすい事例をクイズ形式で出題し、参加者の理解度を図るなど分かりやすく補足をされました。

謝辞は事業部会副会長の長崎正敏氏が述べ、閉会の辞を企画委員会委員長松井忠博氏が述べ閉会となりました。

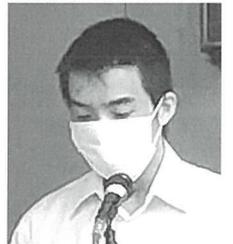
終了後の事業効果として、廃棄物処理法に関する動き及び収集運搬業の許可について知識がより深まったとのことでした。



講演をする高橋主事



フロン排出抑制ポータルサイト QR コード



講演をする中西技師

東三河支部

9月例会

- 日 時：令和4年9月20日（火）午後1時
- 見学先：加山興業（株）
豊川市南千両2丁目1番地
- 出席数：37名

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）の9月例会は研修指導委員会（洪本雅昭委員長）が、東三河支部会員である加山興業（株）の太陽光発電パネルの処理施設及び乾溜ガス化プラント等の見学会を開催し、循環型社会への対応やSDGsの取組について学びました。

当日の集合場所である加山興業（株）の駐車場にて、竹内臨通夫副支部長は開会の辞を述べ、鬼頭支部長は開会の挨拶を述べ、洪本研修指導委員長が本見学会の趣旨説明を行った後、市田リサイクルプラントにて加山興業（株）の中嶋あゆみ氏からプラント内を案内していただきました。

現在、太陽光発電に使用する太陽光パネルは、製品寿命が約25～30年とされているため、FIT開始後に始まった太陽光発電事業は2040年頃には終了し、その際、太陽光発電設備から太陽光パネルを含む廃棄物が出るのが予想されています。

（経済産業省資源エネルギー庁 HP より引用）

中嶋氏からは、「このような課題に対応するため、市田リサイクルプラントでは、使用済みの太陽光パネルについてブラスト工法を用いてガラスを剥離した後、独自のふるい条件でガラスとブラスト材を分離し、高精度なガラスリサイクル及びブラスト材のリユースを行っています。このようにリサイクルすることにより、埋立処分される物量の減溶化を図ることができ、さらにモジュールに含まれるアルミ、銀、ガラス、プラスチック類等をマテリアルリサイクルすることができます。」と説明を受けながら、プラント内のフレーム外し機、カバーガラス剥離装置（投射材（小さく固い）の粒を吹き付けてガラスをはがす）や、ふるい機（比重差を利用し、投射材とガラスを分ける）によって分かれたガラス、フレーム、バックパネルなどを見て回りました。

その後、『破碎選別ライン』にて処理フローの説

明を受け、1日300kgを処理する『銅ナゲット製造ライン』、貴重な資源を手作業で選別する『OA機器リサイクルライン』を見学し、一行は施設内で記念写真を撮影しました。

次に、乾溜ガス化プラント、固形燃料RPF製造ライン、リサイクルプラント等を見学し、千両リサイクルプラントにある養蜂場へ移動しました。

環境指標生物のミツバチは、『ミツバチプロジェクト』として、採取活動や容器製造に伴い排出されるCO₂をカーボンオフセットして排出量をゼロにしている。養蜂場は多数のハーブが咲き誇り、里山を思わせるような自然環境に恵まれており、参加者は養蜂場のハチミツのドリンクをいただいた後、本社前にて酒井正樹総務運営部会副部会長が謝辞を述べ、長崎正敏事業部会副部会長が閉会の辞を述べ、例会は閉会しました。



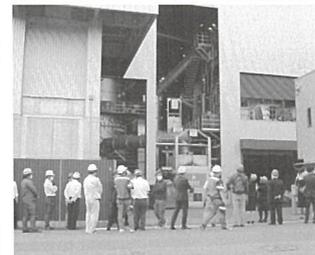
市田リサイクルプラントを見学



市田リサイクルプラント施設説明図



プラント内機器の前での説明。手前は処理される前の太陽光パネル



乾溜ガス化焼却プラントを見学



市田リサイクルプラントにて集合写真を撮影

東三河支部 表浜海岸クリーンアップ大作戦参加

- 日 時：令和4年9月25日（日）午前9時
- 場 所：小島海岸（豊橋市小島町前田）
- 参加者：215名（東三河支部16名含む。）

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）は、530運動環境協議会主催「表浜海岸クリーンアップ大作戦」に参加しました。

数日前より台風15号の影響を受け開催が危ぶまれましたが、当日は天候の影響を受けることなく開催の運びとなり小島海岸に集合しました。

参加者は、530会員の関係者、東三河支部会員、小さなお子さんを連れた家族連れの方、また、サー

フィンを楽しんでいたウエットスーツを着たままのサーファーの方など、多数の方が参加され、受付にてごみ袋（配布）、火ばさみ（貸出）を渡され、各自海岸のごみを回収に回りました。

清掃時間は30分ほどでしたが、530運動環境協議会のホームページ発表によりますと、約280kgのごみが回収されたとのことでした。

また、参加した支部会員からは、プラスチック類のごみが多かったとのことでした。

東三河支部会員の皆さんは、毎年不法投棄ごみ撤去、及び海岸周辺のクリーンアップに参加し、地域の環境保全に貢献される事業を展開しています。



集合場所の支部旗



多くの方が集まる受付風景



清掃の様子



海岸を多くの方が清掃



持ち寄られたごみ袋を並べる



多くのごみ袋が集まる

共に学び、活動し業界の活性化に貢献しませんか。

青年部・女性部 新会員募集！

入部希望の方は事務局へ
お問い合わせください。

TEL:052-332-0346

青年部



青年部会長 天野晃明氏

愛知県産業資源循環協会に青年部があるのをご存じでしょうか。

協会所属の1割ほどが入会し、次代を担うべき人材を育成するための団体です。

活動内容の一例をあげますと・・・講師をお呼びしての勉強会、会員の活性化を図る活動、海岸クリーン活動、中部4県（愛知、岐阜、静岡、三重）及び全国の青年部との交流と多岐にわたります。

直近では女性部のみなさんをお招きした事業も計画させていただいております。

業界を深く知る方々との関係性の構築、所属することでしかできない経験が青年部にはあります。

詳細を聞きたい、もしくは入会をご希望の方は事務局へご連絡ください。

お知り合いの青年部会員へご相談いただいてもOKです！



令和4年度青年部総会・役員の皆さん



愛知県と青年部との意見交換会



内海の清掃活動



DXセミナー開催

女性部



女性部会長 東久保真弓氏

女性部は、現在会員数21名（正会員17名・準会員4名）です。

会員は経営者、管理職、一般社員と幅広く、また若い会員の方が増え、職種に関係なく和気あいあいと楽しく活動を行っております。

活動内容として、意見交換会・セミナー・施設見学会・交流会・親睦会等を企画しております。女性ならではの豊かな感性と視点、パワーで業界のイメージアップを図り、次世代につなげていきましょう。

今年度の今後の活動は、青年部交流会・バランスボール・フラワーアレンジメントランチ忘年会・普通救命講習I等を予定しております。

体験・参加希望の方は、事務局までご連絡をお願いします。

皆様のご入会をお待ちしております！



令和4年度女性部総会・参加者の皆さん



岐阜県協会女性部との交流会



青山副知事を招いて
セミナーを開催



フラワーアレンジメント開催

女性部

コミュニティサロン会

- 日 時：令和4年7月27日（水）
午後1時30分
- 会 場：協会3階会議室（名古屋市中区）
- 出席数：28名（会場12名、Web参加16名）

女性部（東久保真弓会長）は、会員各社の実務効率化について話し合う「コミュニティサロン会」を開催しました。司会進行は水野映里香委員が担当され事業趣旨の説明後、参加された方々の自己紹介がありました。

開会の挨拶で東久保会長は「本日は多数オブザーバーの方の参加を賜りありがとうございます。今回のサロン会は、今年度より女性部研修委員会副委員長になりました三根さゆりさんが担当します。今年度の女性部の活動は、コロナ禍ではありますが感染防止に努め、多くの事業を開催する予定です。オブザーバーの参加は事業により異なりますが、今回参加の皆様方には、事業の雰囲気を見ていただき入会の機会となれば嬉しく思います。」と述べました。

研修は三根副委員長の進行となり、産廃業界のDXの運用について、実際に会社で導入されている会員から具体的な話を伺いました。

『クラウドサイン利用の（有）伸和环境の事例紹介』

女性部副会長の橋本万里子氏が、現在同社にて運用されているシステムを紹介し、メリットは、メールで承認が完了、税理士監修のクラウドサイン契約なので収入印紙不要、印鑑が不要である。1回の契約で200円の利用料。データはクラウド上で保存、印刷可能。紙契約と現状は併用している。デメリットは、ソフト習得のため自社努力が必要であるが、現在全員が対応可能である。顧客側にも電子化の依頼が必要。顧客側の操作方法をフォローすることがあるため、一緒に学ぶ姿勢が必要。

橋本氏は「実際には本当に簡単なので導入してほしいです！契約書の流れが可視化され、有効期限があるので忘れることなく契約の締結ができます。」とのことでした。

『B to Bプラットフォーム利用の永井産業の事例紹介』

女性部会計の永井愛氏が、現在同社にて運用され

ているシステムを紹介し、メリットは、切手・封筒・書類・印鑑不要、封入作業もカット。郵送が無いのでお客様が喜ばれる。売上ソフトと連動しているので請求書作成がスムーズ。10年間保存されるので安心・便利。デメリットは、紙マニフェストや原本が必要なお客様は別途対応。導入前の社員教育が必須。月額使用料（基本料金＋追加料金）あり。

永井氏は「なんといっても作業の手間が軽減できます。また、ペーパーレスによる環境負荷の削減、郵送費・作業費の大幅なコストダウンができ、現在のところトラブルはありません。」とのことでした。

2名の方の発表後、参加者の方から運用にあたって具体的な質問があり、閉会となりました。

・会場参加者（敬称略）

東久保真弓（有）愛知環境センター、橋本万里子（有）伸和环境、永井愛 永井産業（株）、今津悠見（株）アグメント、水野映里香 坪井金属（有）、国本百恵（有）ケーアイ、八澤しのぶ クリーン開発（株）、高村陽子（有）伸和环境、中村智子（株）M.O.C、村瀬茜（株）M.O.C、大野智晶 オオノ開発（株）、坪井妙子 坪井金属（有）

・Web参加者（敬称略）

三根さゆり コスモリサイクル（株）、沼田奈美 三和油化工業（株）、森屋有希子（株）トヨジン、池山美奈 豊田ケミカルエンジニアリング（株）、赤谷陽子（株）カイテック、安藤妙子 大和エンタープライズ（株）、巳山亜季子（有）丸富、鈴木明美 エコムカワムラ（株）、大角彩華 エコムカワムラ（株）、箕浦沙也香 エコムカワムラ（株）、相澤智子 誠美社工業（株）、平本文香（株）アルクス、鈴木麻知代（株）アルクス、伊藤友美（株）アグメント、大久保斉子（株）紙資源名古屋、内田楓（株）紙資源名古屋



女性部 (一社) 岐阜県産業環境保全協会女性部との交流会

- 日 時：令和4年8月3日（水）
午後1時30分
- 会 場：協会3階会議室（名古屋市中区）
- 出席数：12名

女性部（東久保真弓会長）は、(一社) 岐阜県産業環境保全協会（以下「岐阜県協会」という。）女性部との交流会を開催しました。

当日は岐阜県協会女性部から、6名の方（参加者名簿を参照）がお越しになり「今後の女性部の全国展開について」をテーマに意見交換会が行われました。

交流会は永井愛会計の司会進行にて進められ、開会の挨拶で東久保会長は「この度は岐阜県協会女性部の設立、誠にありがとうございます。中部地域に二つ目の女性部が設立され、大変うれしく思っています。愛知県の女性部は令和元年9月に設立されましたが、翌年から新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、対面での事業開催が困難となり、リモート併用のハイブリッド形式にて活動を展開してまいりました。この度岐阜県協会女性部さんが設立され、念願であった中部地域の交流会が開催でき、心より感謝しています。今後、二県の女性部と一緒に活動し業界の女性活躍推進に貢献したいと思っております。」と述べました。

続いて、岐阜県協会女性部会長 後藤和恵氏は挨拶で「この度はお招きいただきありがとうございます。先ほど東久保会長から“おめでとうございます”というお言葉をいただき、改めて身の引き締まる思いがしました。現在会員数は8名ですが、本日は6名で出席させていただきました。今回愛知県の方々と名刺交換をさせていただき、皆様のご活躍ぶりを伺い、産廃業がこれからの社会において活躍していく業界であることを感じました。今後一緒に活動をしていただけるとのこと、心強く感じます。どうぞ宜しくお願い致します。」と述べました。

司会の永井会計より自己紹介のお願いがあり、愛知県女性部から一人ずつ氏名と社名、役職、女性部に参加して感じたこと、仕事へのプラス面などが話

されました。東久保会長は、「設立して三年、やっと計画通りの事業が開催できて結末も強まり、気がついたら会員同士、下の名前で呼び合うくらい仲良くなっていました。」とうれしそうに話されました。

岐阜県女性部の方からは、「今回、女性部に入り岐阜県の方から、交流会で愛知県の方から、多くの学びや刺激を受けました。今後は県というくくりではなく中部地域という観念で活動に参加していきたいです。」と話されました。中には、女性活躍・働き方改革の役職の方が見え、知らないうちに女性が担当している社内の慣習について、女性活躍推進について理解を深めていただけるよう社内調整を図り、現在は社内の雰囲気が変わってきたという話もあり、参加者の方々が関心を寄せていました。

初めての対面で互いに緊張していましたが、とても充実した実り多き時間を過ごせた交流会でした。



参加者名簿

(一社) 岐阜県産業環境保全協会 女性部	
後藤 和恵	(株) 誠和
玉田 稲子	玉田建設 (株)
峠 テル子	(株) 名晃
江崎 かえで	(株) 大雅
堀 亜紀果	日本水機工 (株)
糸魚川 葵	(株) 上野産業
(一社) 愛知県産業資源循環協会 女性部	
東久保 真弓	(有) 愛知環境センター
永井 愛	永井産業 (株)
今津 悠見	(株) アグメント
水野 映里香	坪井金属 (有)
藤澤 美香	(株) セージツ
千田 純子	(株) D.I.D

女性部

電帳法改正とインボイス制度開始に伴う 業務見直しセミナー

- 日 時：令和4年8月24日（水）
午前10時30分
- 会 場：協会3階会議室（名古屋市中区）
- 出席数：12名（会場6名、Web参加6名）

女性部（東久保真弓会長）は、「電帳法改正とインボイス制度開始に伴う業務見直しセミナー」を開催しました。講師として富士フィルムビジネスイノベーションジャパン（株）愛知支社 プロフェッショナルエキスパート太田勝彦氏、森本康裕氏をお招きして、「電帳法改正とインボイス制度開始に伴う業務見直し」について話がありました。セミナーの司会進行は橋本万里子副会長、東久保会長の挨拶の後、講師の紹介がありセミナーが始まりました。

1. 電子帳簿保存法では、納税者の国税関係帳簿書類の保存にかかる負担軽減をはかるために電子で保存することを認めた法律であり、保存上の区分は、①電子帳簿等保存 ②スキャナ保存 ③電子取引に分れ、令和3年度の改正によりそれぞれの対応が変わりました。

2. 改正をきっかけに必ずしなければいけないこととして、取引データの電子保存で決めることでは、保存ルール、検索ルール、保存場所の3つを決めてくださいとのことでした。

3. 電子取引（義務化）対応ソリューションの紹介では、対応手段の一例をフローチャートで説明し、同社のシステム構成例を挙げ、1名で利用する場合、月額クラウドサービスの場合の内容と標準価格について説明がありました。

4. インボイス制度との関連性では、売り手の対応（請求書発行システムの改修や新規導入）と買い手



左から、セミナーで意見を述べる山本氏、藤澤氏、永井氏

としての対応（会計システムの最新化）が企業に求められる対応であるとのことでした。

導入事例として「受発注ペーパーレス化による業務改善」（例：卸売業、従業員約50名）により、ペーパーレスFAXによりプリント料金、用紙代が29,000円／月削減、自席でのFAX送信待ち時間が34時間／月削減、業務プロセスの電子化により文書振り分け、検索工数が67時間／月削減で、月間231,000円、年間2,772,000円（人件費1時間2,000円）で計算）の削減になったとのことでした。太田講師からは、今後の対応に迷っていらっしゃるようでしたらいつでもご相談くださいとのことでした。



新規会員のオオノ開発（株）大野智晶氏



Web参加の新規会員（株）加藤産商の高山梓氏

セミナー後、経営に深く関わる内容であることから、参加者の方々から電帳法改正後の対応について具体的な質問や意見が多数あり、改めて聞き直し理解が深くなったとの感想がありました。

閉会の辞は加藤友美副会長が述べ、セミナーは終了しました。



左から 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン（株）愛知支社の森本氏、太田氏



女性部

施設見学会

- 日 時：令和4年9月12日（月）午後1時
- 見学先：（公財）愛知臨海環境整備センター（ASEC）
愛知県知多郡武豊町字三号地1番地
- 出席数：11名

女性部（東久保真弓会長）は、（公財）愛知臨海環境整備センター（以下「アセック」という。）衣浦港3号地廃棄物最終処分場への施設見学会を開催しました。

アセックでは管理棟内にて、管理部管理課長 飯田豊司氏と同課の技師 竹中 崇氏から同センターの概要について説明を受けました。

アセックは、愛知県内の公共事業及び産業活動から排出される廃棄物の海面埋立処分事業を行うとともに、廃棄物の安全で適正な処分についての調査研究を行うことを目的に、愛知県、名古屋市などの地方公共団体と民間企業の協力を得て昭和63年に設立された公益法人です。

アセックは廃棄物の受け入れには独自の基準を設け、受入契約から搬入に至るまで、廃棄物を厳しくチェックし、安全の確保に努めています。埋立前には積荷の目視確認、場合によっては展開検査や抜取検査を行い、基準に適合しているか確認しています。

受け入れられる廃棄物の量は、496万 m^3 （ナゴヤドーム約3杯分）で、愛知県全域から一般廃棄物と産業廃棄物を受け入れています。また、受け入れている廃棄物は、ダスト類（ばいじん）、燃え殻、

無機性汚泥、鉱さい、がれき類等です。廃棄物の埋立方法は、埋立当初は『薄層埋立』、薄層埋立完了後は『片押工法』とのことです。

護岸は『外周護岸』と『内護岸』の二つからなり、二重の遮水シートや遮水材等により、廃棄物及び廃棄物に触れた水が外部に漏れ出さない構造となっています。なお、東海・東南海連動地震の耐震照査でも、遮水シートの安全性は確認されています。

アセック概要の説明後、映像を見て理解を深めました。その後、参加者は屋上に行き処分場を上から眺め、改めて処分場の大きさ（約43ha）を実感することができました。

最後に竹中技師を交えて記念撮影を行い、施設見学会は閉会となりました。



アセックの概要紹介の映像を見る



管理棟屋上から処分場を見学



処分場の様子



処分場の様子



右から、アセック管理課 飯田管理課長、竹中技師



管理棟屋上にて記念撮影



レクリエーションバレーと共に歩む

(尾張西支部)
永井産業株式会社
取締役常務執行役員

永井 ^{いとし}愛さん



女性部事業にて活躍されている永井さん



永井さんは永井産業(株)の取締役常務執行役員として重責を担うと共に、女性社員の働きやすい環境づくりを常に提案し、積極的に女性ドライバーの雇用促進をするなど女性社員の相談役としても頼もしい存在です。

平成元年9月に設立した女性部に設立時より参加され、「会計」を担当。本年度よりコロナ禍を乗り越え多くの事業を開催し、全国に向けて大きく動き出した女性部。役員としてもご活躍の永井さんの趣味についてお話を伺いました。

 ママさんバレーをされている、とのことですが、いつ頃から始められたのですか？

永井：最初の子どもの生まれて10か月ぐらいの時に、近所の方から一緒にバレーボールをしませんか、と誘われて始めたのがきっかけです。

 お子さんが赤ちゃんの時から始められたのですね。

永井：はい、「名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会」(以下「女性レク・バレー」という。)に所属するチームで活動し始めました。

「女性レク・バレー」は25歳以上の女性なら誰でも参加できる生涯スポーツです。

名古屋市独自に定められルールがあり、6人制、4人が必ずボールに触る、パスアタック(攻撃的な打ち込みは×)により返球すること等が特徴です。これは、あくまでもレクリエーションバレーであるため、経験者も初心者でもみんなで楽しむことを前提としているからです。

練習場所は、小中学校の体育館や市の生涯学習センターをメインに行っています。

練習内容は、参加者の方が比較的初心者の方も多いということから、パスやレシーブなどの基礎練習をしっかりとやります。

 練習中お子さんはどうしていたの？

永井：赤ちゃんの頃は体育館の体操マットの上で寝かせていました。(笑)ハイハイしたり、歩き始めると、大きな体育館に大喜びして、遊んで走り回っていたことが思い出されます。

 お子さんは体育館で大きくなられたのね(笑)

永井：今思えば、「女性レク・バレー」をしながら子育てを楽しみ、バレーボールを通じて多くの知人ができ、とても有意義な時間を過ごせたと思っています。最初は趣味で、と始めましたが7年間続けました。

 その後もバレーボールは続けられましたか？

永井：はい、次は子どもたちが通学していた小・中学校において、「名古屋市立小中学校PTA協議会」の「PTAバレーボール」で活動しました。

参加者は名古屋市内の小中学校に通学するお子さんの父兄や、教



子どもが中学生の時、所属していたチームの優勝記念写真



「東志賀 P」チームの優勝記念写真



「東志賀 P」チームの優勝記念写真



2022年9月頃の練習風景



2022年9月頃の練習風景



現在のチームメンバー

師が参加します。各チーム男性は2名までです。

※令和4年4月1日よりチーム構成における年齢制限はなくなりました。

区ごとに大会が開催され、区大会で優勝したチームは「市Pバレーボール大会」に参加できるので、それを目標に練習を重ねていました。

「PTAバレーボール」は10年間活動し、気づいたらキャプテンも経験しました。しかし、子どもが中学を卒業しましたので、私も「PTAバレーボール」を卒業しました。振り返れば計17年ですが、あっといふ間の年月ですね。

いまは「MIXバレーボール」(男女混合)という、性別や年齢の枠がないバレーボールをしています。団体に所属しなくても活動はできますが、やはり大会に出る試合をしたいと思いましたので、団体が運営するチームに所属して活動をしています。

チームランクによってブロックが分かれていて、大会の勝敗によ

ってランクがアップダウンします。

今在籍しているチームは、15名(女性7名、男性8名)のメンバーで構成され、私のポジションはバックセンターです。

メンバーの中には親子で参加している方が3組います。うち赤ちゃんの時から練習を見ていたはずなのですが・・・(^_^)

練習は月に10~15回ほどあり、自チーム以外に知り合いのチームのお手伝いに駆り出されることもしばしばあります。週末に重なることが多く、中には午前・午後・夜と一日中練習することもあります。

ただこの数年は、コロナ禍で体育館の利用が制限されることも増え、他の区や市外の施設へ遠征することが多かったですね。練習時は感染防止対策が徹底され、ボールは常に消毒、プレー中はマスクを外しますが、待機の時はすぐにマスク着用を厳守しています。

最近はコロナ禍であっても、状況が少しずつ緩和されてきました

ので、これからの変化に期待したいと思っています。

バレーボールへの情熱がとも伝わってきました。最後に一言。

永井：長い間、バレーボールを続けてこれたのは、家族の理解と協力があったからこそです。週末だけでなく平日の夜にも練習があり、家族には本当に感謝しています。

そして我が子たちには、自身のように打ち込めることを見つけてほしいなとも思います。

バレーボールは生涯スポーツともいわれ、周りでも70代でも現役で活躍されている先輩方がいます。

私自身も何歳まで元気に活動できるか分かりませんが、まだまだ人生これから、楽しんでいきたいと思っています！

仕事を持ち、業界への社会貢献、そして主婦であり、母である。その中で自身の道を歩んで来られたすてきなお話しをありがとうございました。

<正会員>

株式会社 大同建設工業 (代表取締役/青本 映子)

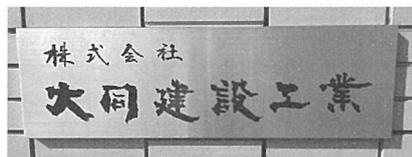
〒446-0053 愛知県安城市高棚町東山83番地

TEL 0566-92-7763 FAX 0566-92-7764

弊社は昭和57年愛知県安城市にて創業し、40年を迎えます。創業当時より「常にお客様目線に立つ」を経営理念に掲げ、ご依頼から工事完了までお客様の気持ちに寄り添った対応、安全を最優先した手順による解体作業を実施しております。

現地調査からお見積り、ご契約、工事中におけるフォロー、整地確認に至るまで一貫した専任スタッフによるきめ細かい対応、対象物件の構造や立地を踏まえ、豊富な経験を持つ職人による臨機応変な対応を心掛け、お客様の信頼・安心と共に着実に実績を積み上げてまいりました。

今後も適正な産業廃棄物処理業務を通じ、排出される産業廃棄物の有効活用を進め、資源循環型社会構築に寄与できるような事業に邁進していきます。



<正会員>

株式会社 藤木工業 (代表取締役/藤木 裕士)

〒459-8001 愛知県名古屋市長区大高町字中川35番地の1

TEL 052-627-8930 FAX 052-627-1770

<正会員>

株式会社 エコソリューション (代表取締役/鈴木 章浩)

〒444-0933 愛知県岡崎市渡町字落合46番地

TEL 0564-34-2824 FAX 0564-47-7840

<賛助会員>

株式会社 メニコン総合研究所 (所長/丹羽 一晴)

〒487-0032 愛知県春日井市高森台五丁目1番地10号

TEL 0568-95-3311 FAX 0568-95-3317

法律診断



牟田美智代事務所

社会保険労務士・特定行政書士

厚生労働大臣認可・労働保険事務組合 どりかむ21 運営

TEL 052-681-6006

～プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック新法)～

プラスチックが生まれてから廃棄されることなく、
何度も生まれ変わり使用される世界(サーキュラーエコノミー)を目指す法律

○成立の背景

近年、海洋プラスチックごみ問題、各国の廃棄物輸入規制強化等を受け、その利便性から幅広く利用され今や私達の生活に不可欠な素材である“プラスチック”を国内で資源循環させる体制をしっかりと構築し、次世代へ豊かな環境を残すべく制定された法律です。

○“素材”に焦点を当てたリサイクル法

これまでのリサイクル法は“製品”に焦点を当ててきましたが、新法はプラスチックという“素材”に焦点を当て、プラスチックを使用した製品の設計・製造から廃棄物の処理までのライフサイクル全体で資源循環を促すことを目的としています。

○対象となる“プラスチック”の定義

プラスチックを「プラスチック使用製品」「使用済プラスチック使用製品」「プラスチック使用製品廃棄物」「プラスチック副産物」の4種に区分、製品や業界の枠にとらわれずに減量・再資源化を図ります。なお、使い捨てプラスチックの使用抑制のため、無償提供されるフォーク、スプーン等12品目を「特定プラスチック使用製品」としています。

○廃棄物処理業者に関わる新法のポイント

排出・回収・リサイクルに関わる処理業者様へ関係してくるのが、以下3点です。

(1) 市区町村による分別収集・再商品化

市区町村が共同して分別収集し再商品化する方法の一つとして、日本容器包装リサイクル法の指定法人に委託する方法が規定されました。この指定法人から再商品化事業者として委託を受けると、再商

品化に関わることが可能になります。

(2) 製造・販売事業者等による自主回収・再資源化

これまで、店頭等で自主回収が進められてきましたが、自主回収・再資源化計画の認定を受けた事業者は、廃掃法の業の許可がなくても、他社の使用済プラスチック使用製品も含めて回収、再資源化ができるようになりました。ただし、認定を受けた場合であっても、業許可以外(廃棄物処理施設の設置許可等)は引き続き廃掃法が通用されます。

(3) 排出事業者による排出抑制・再資源化

再資源化事業計画の認定を受けた事業者は廃掃法に基づく業の許可がなくても、プラスチック使用製品産業廃棄物等の再資源化事業を行うことができるようになりました。この場合も(2)と同様に、認定を受けた場合であっても、業許可以外(廃棄物処理施設の設置許可等)は引き続き廃掃法が適用されます。

この新法により“プラスチック”の定義が明確化されましたが、プラスチックは発生状況や状態により有価物と判断されるケースも多々あります。ご存知のとおり廃棄物と有価物の取り扱いは明確なものがなく、判断に迷われた際にご相談いただくことが多くあり、行政ごとに見解が異なるのが常ですが、この新法も同様に、事例を重ねることで解釈が明確になっていくと思われます。廃プラスチック類を扱う会員様には、この新法の今後を見守っていただきたいと思ひます。



プラスチック新法の普及啓発ページ/環境省
詳細はこちらのページをご確認ください。

事業者、人事労務担当者の皆様、
産業医・産業看護職等の産業保健スタッフの皆様へ

働く女性の健康推進に取り組みましょう

- 産業保健総合支援センターをご活用ください -

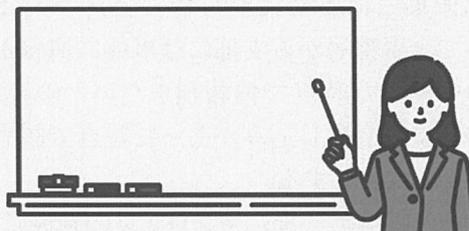
全国47都道府県に設置されている産業保健総合支援センターでは、
産業保健の専門家が以下の支援に取り組んでいます。ぜひご活用ください。

1

女性特有の健康課題に関する研修 を実施しています

月経関連疾患などライフステージに応じた女性の健康課題について正しく
理解し、働く女性に対して適切に配慮（婦人科等を受診する場合の特段の
配慮や相談しやすい職場環境の整備等）する
ことが重要です。

事業者や人事労務担当者、産業保健スタッフ
向けに研修を実施していますので、ぜひ受講
してください。

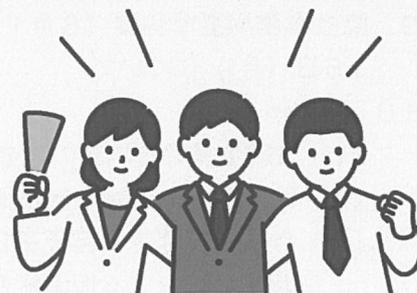


2

職場における女性の健康に関する ご相談に応じます

産業保健総合支援センターの保健師が中心となり、職場における女性の健
康に関するご相談に対応いたします。

より専門的なご相談については、女性健康支援
センターや不妊専門相談センターにご案内する
など、産業保健総合支援センターの保健師が連
携コーディネーターとして支援を行います。
労働者個人の方、事業者の方からのご相談を受
け付けています。



< ホームページのご案内 >

各種研修・セミナーは、各都道府県の産業保健総合支援センターの
ホームページからお申込みいただけます。

<https://www.johas.go.jp/shisetsu/tabid/578/default.aspx>



事務局だより

令和4年度 第2回理事会 (Web併用開催)

1. 開催日時 令和4年7月21日 (木)
午後2時から
2. 開催場所 協会 3階 会議室

<承認事項>

議題1. 会員動静について

事務局より、配付資料に基づき、前回理事会以降、入会 (正会員1社、賛助会員1社)、退会 (正会員1社、賛助会員0社)、資格喪失 (正会員1社) により、会員数は682社 (正会員597社、賛助会員85社) で増減は正会員1社減、賛助会員1社増で全体の増減は無しの旨報告があり、承認された。

その他、会員企業の社名・住所・代表者の変更について報告があった。

鬼頭東三河支部長から新入会員の入会や退会について、事務局から支部には事前に情報が無いので予め判明した時点で情報頂きたいとの要望があり、事務局に入会申し込みがあった時点で該当支部長に連絡することとする。

議題2. 環境デーなごや2022の開催について

議題3. 令和4年度「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」企画について

議題4. 令和4年度・5年度委員会委員について

議題5. 令和4年度福利厚生委員会の事業計画について

議題6. 令和4年度研修指導委員会の事業計画について

議題7. 令和4年度安全衛生委員会の事業計画について

議題8. 紙マニフェスト価格改定について

議題9. 協会事務局夏季休業 (8月12日 (金) ~ 15日 (月)) について

議題10. その他

- (1) 賛助会員の青年部の入会について
- (2) 独自更新許可講習会の開催について
- (3) 令和4年度守山区天子田学区自主防災訓練における仮置場設置・運営訓練について
- (4) 東三河支部：令和4年9月4日豊川市防災訓練のパネル展示のパネルの借用について

<報告事項>

1. 第11回通常総会、愛知県産業資源循環協会暴

力対策協議会総会の開催結果について

2. 令和3年度新規許可取得処理業者一覧表 (令和4年度調査) について
3. 支部役員名簿について
4. 全産連「令和4年度適正処理推進事業等活動支援金」について
5. 協会・委員会・部会・支部・青年部・女性部の活動状況について
6. 今後の主要行事

■会員情報の変更

代表者変更

<名古屋>

(株)ダイセキ 代表取締役社長 柱 秀貴(退任)
→ 代表取締役社長 山本 哲也

中日本ハイウエイ・メンテナンス名古屋(株)

代表取締役 日比野 進弘(退任)

→ 代表取締役 関谷 富彦

(有)森田商店 代表取締役 森田 喜美子(取締役)

→ 取締役 森田 力也

<西三河>

サンエイ(株)

代表取締役社長 神谷 武之(取締役相談役)

→ 代表取締役社長 川瀬 廣正

<県外>

(株)太洋サービス 代表取締役 鈴木 京子(退任)

→ 代表取締役 鈴木 裕司

(株)ケー・イー・シー

代表取締役社長 三浦 洋次(会長)

→ 代表取締役社長 三浦 眞世

支部変更

三愛設備工業(有) 尾張南支部 → 名古屋支部

令和4年度 第3回理事会 (Web併用開催)

1. 開催日時 令和4年9月9日 (金)
午後2時から
2. 開催場所 協会 3階 会議室

<承認事項>

議題1. 会員動静について

事務局より、配付資料に基づき、前回理事会以降、入会(正会員2社、賛助会員0社)、退会(正会員0社、賛助会員0社)は無く、会員数は684社(正会員599社、賛助会員85社)で2社増の報告があった。その他、会員企業の住所変更・代表者の変更等について報告があった。

議題2. 県・市行政と愛産協との懇談会のテーマについて

議題3. 令和4年度災害廃棄物処理対策に関する特別委員会の事業計画について

議題4. SDGs 愛知EXPO2022 in SKY EXPOへの出展について

議題5. その他

- (1) (一社) 愛知県産業資源循環協会の収支状況(平成29年~令和3年)について
- (2) 電子契約事業者の説明会の開催について

<報告事項>

1. 令和4年度の視察研修の中止について
2. 新入社員安全衛生教育研修会の開催結果について
3. 産業廃棄物処理に係る「第33回実務者研修会」実施結果について
4. 愛知県主催「令和4年度災害廃棄物処理に関する研修会」の参加結果について
5. 業務継続計画(BCP)の模擬訓練の結果について
6. 産業廃棄物処理業者及び排出事業者への一斉立入指導(2022年6月)の結果について
7. Let's エコアクション in AICHI のブース出展について
8. 優良認定業者一覧(令和4年7月30日現在)について
9. 協会・委員会・部会・支部・青年部・女性部の

活動状況について

10. 今後の主要行事

■会員情報の変更

住所変更

<名古屋>

- ・(有)水谷ケミカル
名古屋市 中川区 八剣町 3-16-1
TEL 0567-56-0777 FAX 0567-55-0277
→ 海部郡 飛鳥村 梅之郷 東梅 26-31
TEL・FAXは同じ
- ・日本通運(株)名古屋支店
名古屋市 中村区 名駅南 4-12-17
TEL 052-756-2780 FAX 052-551-8183
→ 名古屋市 中村区 名駅南 1-16-21
TEL・FAXは同じ

代表者変更

<名古屋>

- 日本通運(株)
執行役員名古屋支店長 古江 忠博(取締役常務執行役員)
→ 執行役員名古屋支店長 天白 淳

<尾張北>

- (株)中西 代表取締役 笠原 尚志(取締役会長)
→ 代表取締役社長 中西 隆

<西三河>

- テムズ中日(株) 代表取締役 小塚 健司(顧問)
→ 代表取締役 吉田 一仁

編集 後記

SNSが主流の今、言葉の大切さを実感します。

本人は、はっきり意識していなくても、言い方の違いはわずかでも相手への伝わり方が大きく違ってしまいうことがよくあります。

また、こちらが温かい言葉を使えば温かい言葉が返ってきますし、冷たい言葉を使えば、冷たい言葉が返ってきます。私たちの会話は、「伝達の言葉」と「心の言葉」で成り立っています。

心の言葉は「愛語」のことで、相手の立場、相手の気持ちになって発した言葉です。

伝達の言葉は、相手の立場に立つというよりは、ただ伝わればよい、伝えればよいという言葉です。

古来、言葉には呪力があると信じられています。言葉の宿る魂、それが「言霊」です。言葉の魂を大切にしたいものです。

まわりから「伝達の言葉」しか返ってこないと思ったら、私が「伝達の言葉」だけで話をしているのでしよう。「心の言葉」で話し、言葉に込めた思いもきちんと伝えたいと思います。

今年度から広報編集委員として務めさせていただくことになりました。文章とは無縁に近い私ですが、広報編集委員の皆様のお力に少しでもなれるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

(M.H)

■広報編集委員

- 委員長 中野 兼司 (株)東伸サービス
- 副委員長 新美 三良 (有)三洋サービス
- 委員 藤本 和也 (株)ワールド・クリーン
- 〃 小野島常夫 ヤマケン(株)
- 〃 東 昌克 (株)クリンテック
- 〃 鈴木 隆真 (株)リョクリン
- 〃 大塚 敬功 豊田ケミカルエンジニアリング(株)
- 〃 金井 邦剛 (株)企業処理サービス
- 〃 伊藤 良文 (株)マルサワ
- 〃 天野 晃明 岡崎技研(株)
- 〃 東久保真弓 (有)愛知環境センター

サルスベリ [白鳥庭園]

撮影に伺ったのは8月の終盤。まだ庭園内は夏の花が多く見られ、同園中央あたりの「清羽亭」近くでサルスベリ(百日紅)の花が咲いているのを見つけました。

その名の通り、約100日ほど開花しているとのこと。謂れば色々あるようですが、秋の訪れまで長く花を愛でることができるので、本誌的にはエコであると感じる。

表紙のコンセプト

何百年と自然の風雪に耐え、大地に根を張る大樹。

天に向かって大きな枝を張る雄々しい姿に人は圧倒され、遙か昔から巨木には神が宿るといわれ、その時代の信仰の対象となりました。これは地球環境が守られているからこそ、若い木が巨大樹木にまで成長することができます。

愛知県内には、そのような由緒ある巨木が多数あります。今後この環境を保持するためにも、巨木を通して自然環境を崇める、そのような文化を紹介していきます。

■支部別会員数

令和4年9月9日現在

支 部	正会員	賛助会員	合 計
名古屋支部	182	49	231
尾張西支部	78	6	84
尾張北支部	83	11	94
尾張南支部	51	6	57
西三河支部	110	3	113
東三河支部	74	5	79
県 外	21	5	26
合 計	599	85	684

青年部：59名 女性部：21名(準会員4名含む)

循環あいち

第125号

令和4年(2022年)10月20日発行

編 集 『循環あいち』広報編集委員会
 発 行 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会
 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目10番9号
 (第8フクマルビル5階)
 TEL(052)332-0346 FAX(052)322-0136
<http://www.aisanky.com> E-mail:info@aisanky.com
 発行人 永井良一
 事務局 小坂元信
 編集協力・制作 有限会社トピック

〈広告掲載会社名〉

近藤産興 株式会社
 株式会社 明輝クリーナー
 株式会社 海部清掃

株式会社 JEMS
 協会ホームページ・バナー広告掲載企業の募集

オオブユニティ 株式会社
 株式会社 ダイセキ

私たちは、地域に密着した環境事業を通じて 循環型社会の創造に貢献していきます。



環境に及ぼす影響をすこしでも
おさえる役割をしています。

廃棄物関連事業

収集運搬

浄化槽

浄化槽の施工・清掃からの維持管理

中間処理

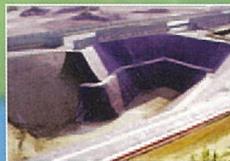
廃液の処理や
廃棄物の焼却からリサイクルまで

- 焼却・破砕
- 中和・脱水
- リサイクル

最終処分場

廃棄物の埋立最終処分場

環境との調和を大切に
した廃棄物埋立処分場です。



地域住民



公共施設 交通機関官庁

工場



専門メーカー 技術系商社

水の安全性や建物の補修により
産業に大きく貢献しています。

土木・建築・下水道 関連事業

土木・建築関連

- 一般土木工事
- 路面清掃
- 水路・側溝浚渫工事



交通機関の要としての
地下鉄やトンネルをクリスタル
ライニング工法により浸入水防
止を施しています。

下水道関連など

- 管更生工事
- 管渠部分補修工事
- 取付管ライニング工事
- TVカメラ調査
- 汚水自動バイパスシステム
- 防食ライニング工事
- 接着補強型止水工法
- 水中橋脚ライニング工事
- トンネルおよび地下鉄の止水工事

クリスタルライニング工法で下水道施設の腐食、劣化、
浸入水を防ぎ効率的にインフラ価値を維持、向上します。

クリスタルライニング工法

シームレスシステム工法

エコハイブリットライナー工法

SGICP工法

3Sセグメント工法

FRP光硬化取付管ライニング工法

FRP内面補修工法

RPS工法

XVテレビカメラシステム

工場改善関連

- スレート屋根の防水・再生

ラース工法



防水性に優れたラース
工法によりスレート屋根
の補修などで工場全
体を再生します。



ビルの飲料水を供給する受水槽・高架水槽は、
生活の基準となる水の安全性を守るため、
定期的な清掃を行っています。

ビルの飲料水を安全にするために。

ビルメンテナンス 関連事業

- 貯水槽清掃
- グリストラップの清掃と処理
- 給排水管清掃

UNITY

オオブ ユニティ株式会社

〒474-0001 愛知県大府市北崎町駒場88番地
TEL.(0562)47-0535 FAX.(0562)47-0531

- 一般廃棄物処理事業
- 都市環境清掃整備
- 下水道調査・修理
- 産業廃棄物処理事業
- 処理場の管理
- ビル管理清掃
- 工場環境清掃整備



人と自然のために...

「限られた資源を活かして使う」をテーマに
ダイセキグループは最新設備と高い技術力で
[資源循環型社会の構築]に貢献してまいります。

廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥の処理および資源リサイクル



[名古屋事業所リサイクルセンター]



Daiseiki 株式会社 **ダイセキ**

ホームページ <http://www.daiseiki.co.jp>

〒455-8505 名古屋市港区船見町1-86
TEL(052)611-6321 FAX(052)611-0160

<事業所ネットワーク>

名古屋事業所	名古屋市港区船見町1-86	TEL(052)611-6321
北陸事業所	石川県白山市相川新町631-1	TEL(076)275-6585
関西事業所	兵庫県明石市二見町南二見21-6	TEL(078)949-1180
九州事業所	北九州市若松区南二島4-13-3	TEL(093)701-2016
関東事業所	栃木県佐野市西浦町570-1	TEL(0283)24-8006
千葉事業所	千葉県袖ヶ浦市南袖23-8	TEL(0438)62-8798

土壌汚染の調査・浄化・無害化の一貫処理および資源リサイクル



[名古屋リサイクルセンター]

株式会社 **ダイセキ環境ソリューション**

〒467-0852 名古屋市瑞穂区明前町8-18
TEL(052)819-5310 FAX(052)819-5311
<http://www.daiseiki-eco.co.jp>

廃石膏ボードの資源リサイクル



[グリーンアローズ中部]

株式会社 **グリーンアローズ中部**

〒476-0001 愛知県東海市南柴田町ホノ割213-7
TEL(052)689-3501 FAX(052)604-1558
<http://www.daiseiki-eco.co.jp/gac>